

第2章 区の自転車利用を取り巻く現状と課題

1. 区の地域特性

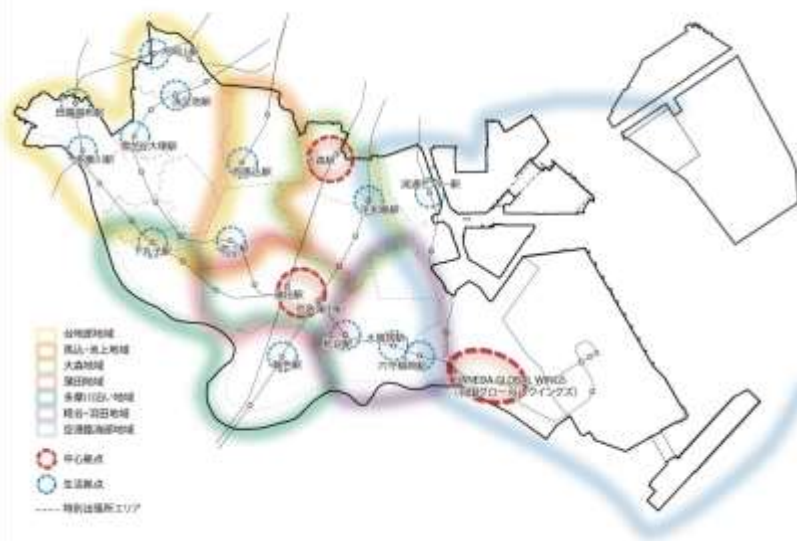
①位置・面積

- 大田区は東京都の東南部にあり、JR 京浜東北線の東京駅～横浜駅のほぼ中央に位置しています。
- 面積は特別区の中で最も広い61.86 km²です。なお、この面積には、羽田空港の約15 km²など、非居住地域の面積も含まれます。
- 鉄道網は主に南北方向に充実しており、JR、京浜急行電鉄、東急電鉄、都営地下鉄、東京モノレールの13路線が走っています。



②地域区分・地形

- 大田区は、大きく分けて北西の台地部と南東の低地部、埋立地で形成された空港臨海部からなっており、地形や主な土地利用等の状況を踏まえ、右の7つの地域区分でまちづくりが進められています。
- 海拔は、田園調布付近が42.5mで最も高く、南東に向かって次第に低くなっていき、台地部以外は自転車の利用がしやすい、ほぼ平坦な土地となっています。

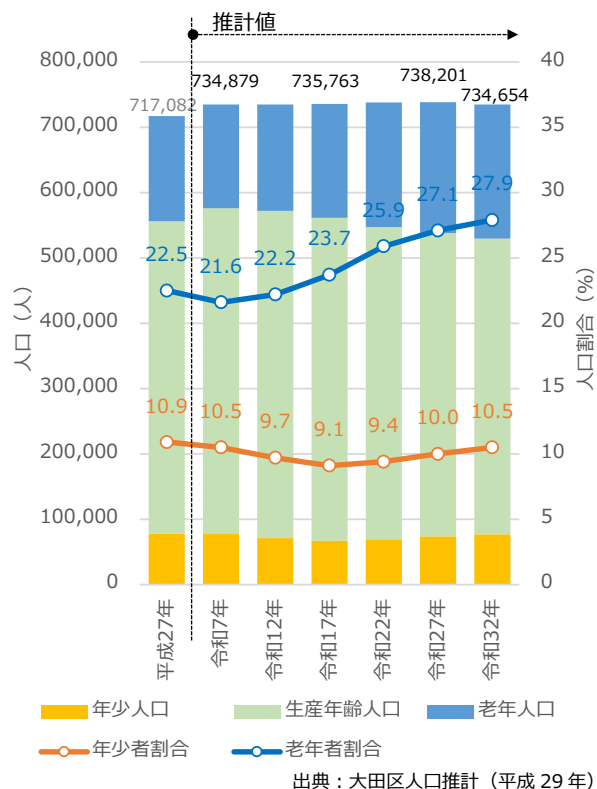


出典：改定大田区都市計画マスタープラン（令和4年）

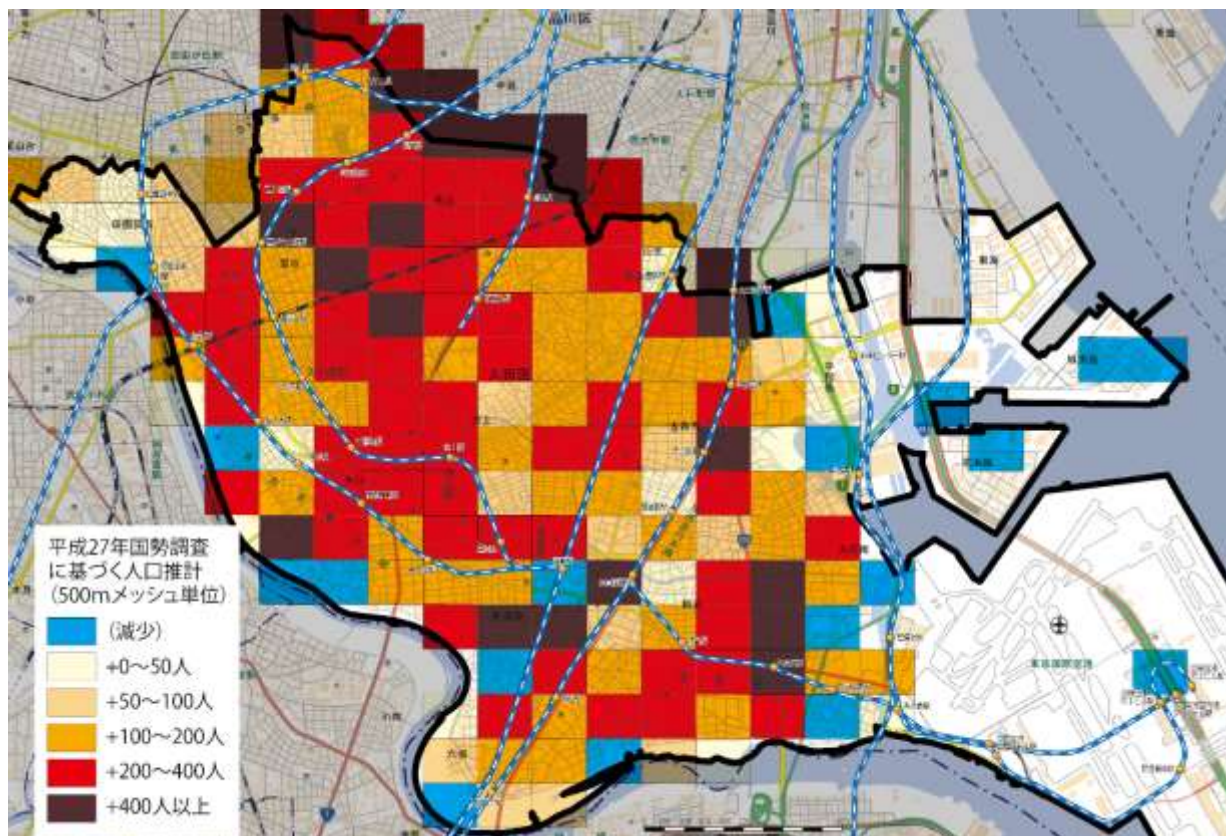
③人口の推移

- 大田区の人口は、令和3年10月1日時点で730,803人となり、令和25年まで増加を続けると推計されています。
- 年少人口（15歳未満）は、今後減少傾向に転じ、令和27年には約7万4千人になると推計されています。
- 生産年齢人口（15～64歳）は、当面増加傾向にあります。令和12年以降に減少傾向に転じると推計されています。
- 老年人口（65歳以上）は今後も増加し、令和27年に約20万人、全人口に対する割合が27.1%に達すると推計されています。
- 人口増加は、区内のほぼ全域で進む傾向にあり、特に台地部地域、糺谷・羽田地域に人口増加の地域が集まる傾向が見られます。

■大田区の人口推計



■平成27年（国勢調査時点）から令和7年までのメッシュ単位人口推計

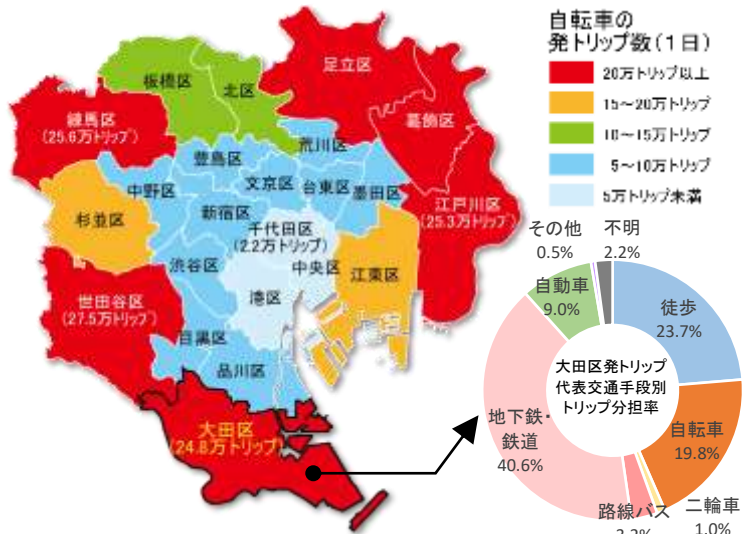


※国土数値情報ダウンロードサイト（国土交通省）の500mメッシュ別将来推計人口データに基づき作成

2. 区民の自転車利用状況

①自転車の移動量

- 平成 30 年調査において大田区から発生した自転車の移動量は、1 日 24.8 万トリップ（出発地から目的地までの移動単位）であり、特別区内で 4 番目に自転車利用が多くなっています。
- 大田区から発生した全交通手段での移動量は 1 日 125.6 万トリップであり、自転車はこのうち約 20% を占めています。

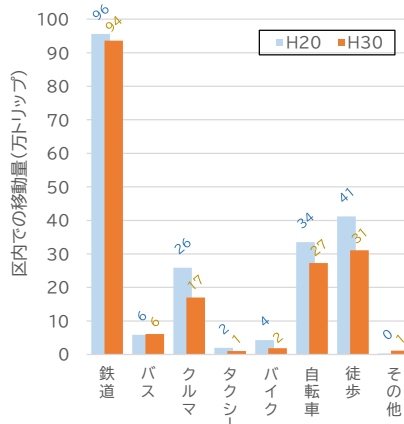


出典：第 6 回東京都市圏パーソントリップ調査（国土交通省、平成 30 年）
 ※代表交通手段：一つのトリップでいくつかの交通手段を乗り換えた場合の主な交通手段です。主な交通手段の集計上の優先順位は、鉄道、バス、自動車、二輪車、自転車、徒歩の順になっています。

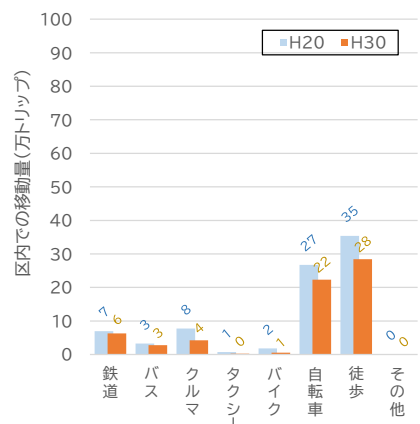
②自転車利用の変化

- 大田区内を出発地または到着地とする自転車での移動について、平成 30 年は、平成 20 年と比較して約 7 万トリップ減少しています。
- 大田区内を発着地とする移動でも自転車の移動は減少しています。
- 平成 30 年の大田区内を出発地または到着地とする移動における自転車の分担率は、平成 20 年から減少していますが、大田区内を発着地とする移動の分担率は増加しています。

【区内の全移動の変化量】

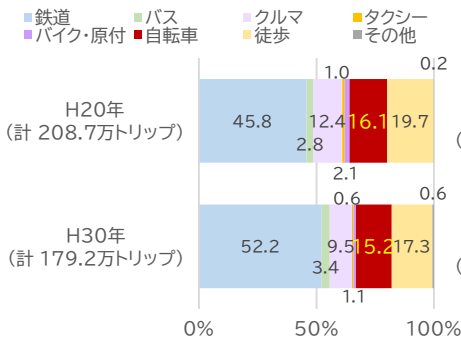


【うち「区内」の移動のみ】

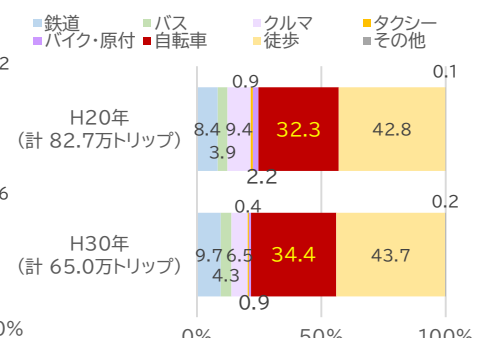


出典：第 5・6 回東京都市圏パーソントリップ調査（国土交通省、平成 20・30 年）

【区内の全移動の交通手段分担率】



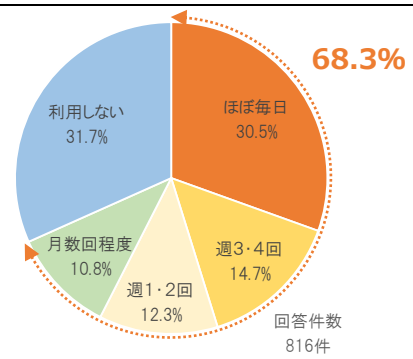
【区内の移動のみ】



出典：第 5・6 回東京都市圏パーソントリップ調査（国土交通省、平成 20・30 年）

③自転車の利用頻度

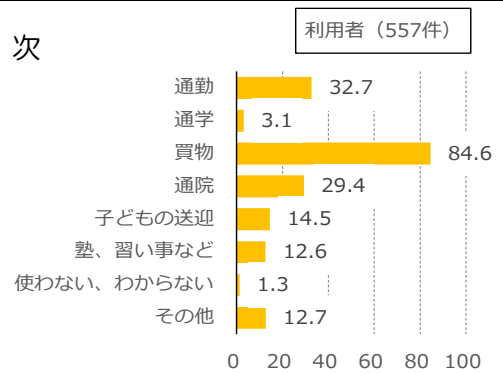
- 区民の日常生活における自転車利用頻度は、「ほぼ毎日」が30.5%で最も多く、月数回程度の日常生活で比較的自転車を利用している層までを合計すると、全体の68.3%に上ります。



出典：大田区自転車に関するアンケート調査（令和元年）

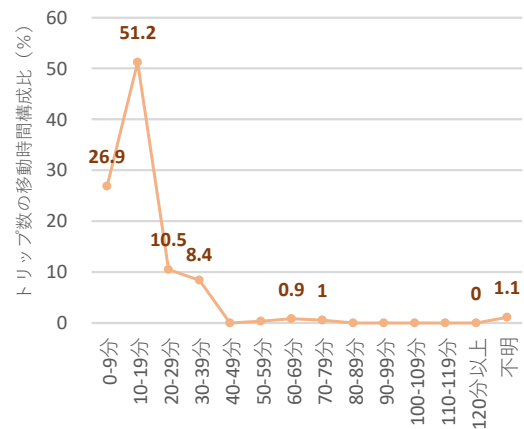
④自転車の利用目的

- 自転車の利用目的は、「買物」が84.6%で最も多く、次いで「通勤」、「通院」が多くなっています。



⑤自転車での移動時間

- 大田区を出発地とする移動時間帯別の自転車のトリップ数の比率は、「10-19分」が約半数で最も多く、次いで「0-9分」が多くなっています。
- 「0-19分」の移動が約8割を占めているため、自転車の移動速度を15km/hと仮定すると、大田区では走行距離5km以下の自転車移動が中心であると考えられます。

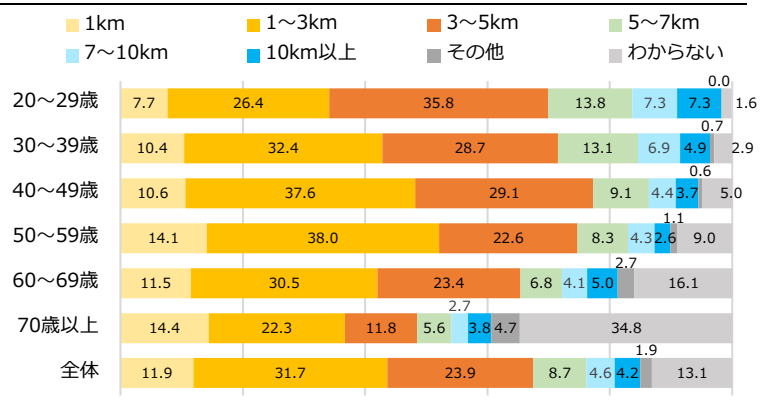


出典：第6回東京都市圏パーソントリップ調査（国土交通省、平成30年）

【参考】自転車の移動可能距離

- 内閣府の調査では、自転車で行ける範囲として、「1~3km」が31.7%で最も多くなっています。これは、短距離であれば、自転車は他の交通手段より短時間で移動できるためと考えられます。
- 年齢層別では、若い世代ほど移動可能距離が長い傾向にあります。

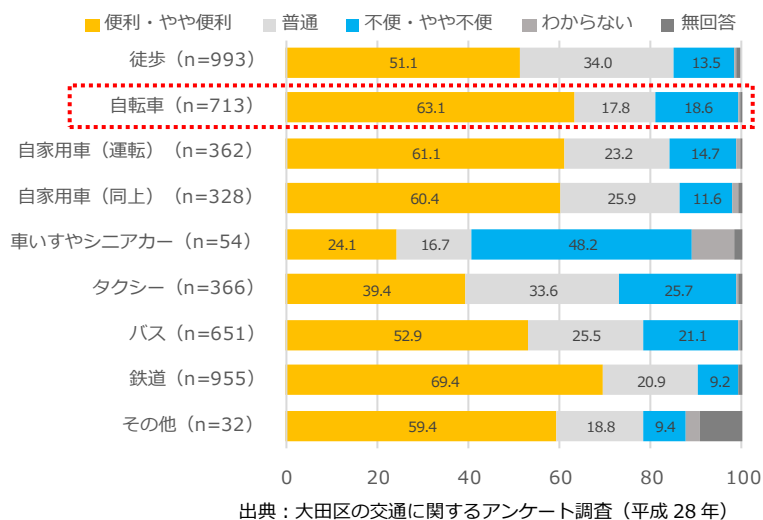
■自転車で行ける範囲（20歳以上の国民が対象、有効回答3,157人）



出典：歩いて暮らせるまちづくりに関する世論調査（内閣府、平成21年）

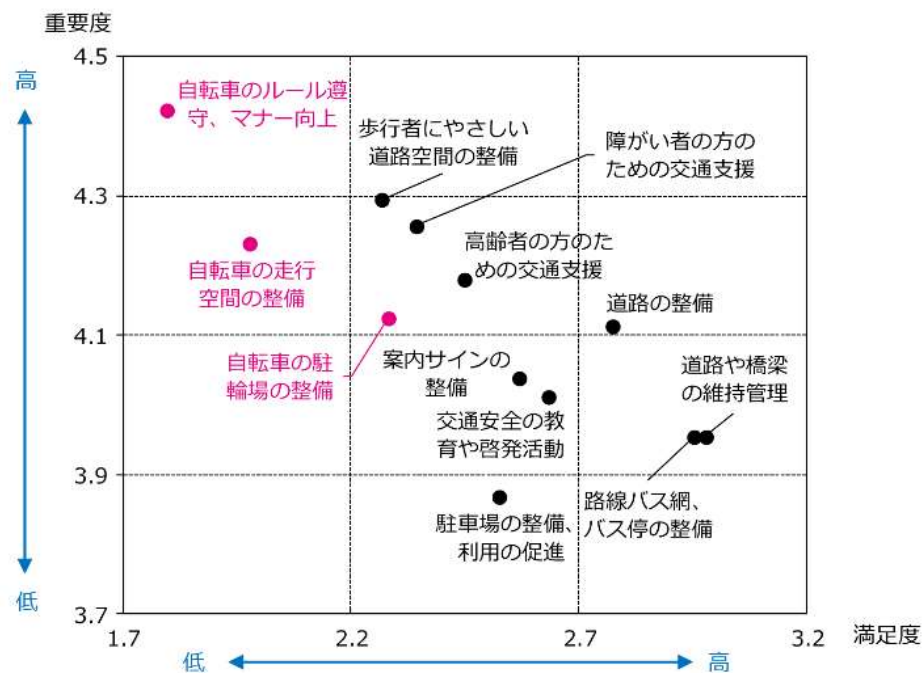
⑥交通手段の便利さ

- 交通手段の便利さについては、自転車を「便利・やや便利」と回答した人が63.1%であり、鉄道に次いで多くなっています。
- バス・タクシーといった路上公共交通の評価が若干低い中で、自転車はそれらを補完する手段としての利用も想定されます。



⑦交通政策の取組みに対する満足度・重要度

- 区の交通政策の取組みに対する満足度と重要度では、「自転車のルール遵守、マナー向上」、「自転車の走行空間の整備」、「自転車の駐輪場の整備」の全ての自転車関連の取組みに対する重要度が高くなっている一方、満足度が低い結果となっています。



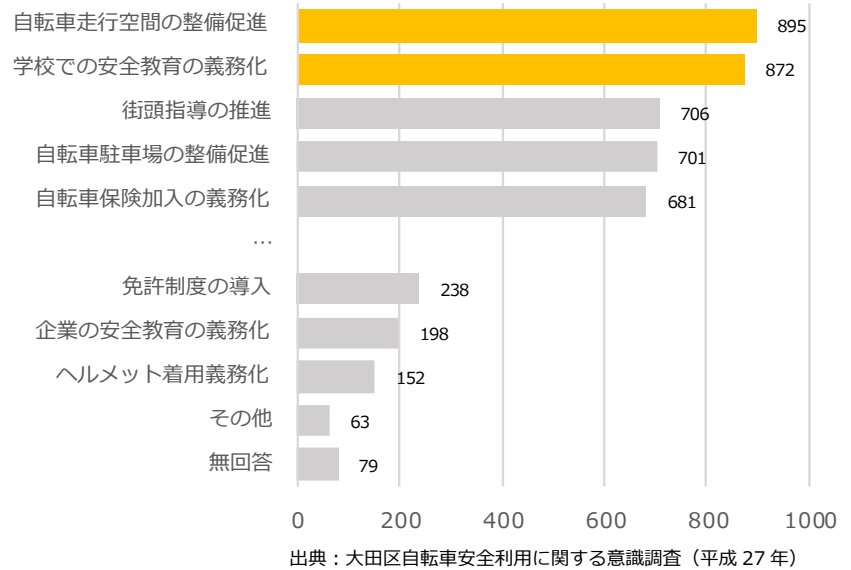
※ 満足度、重要度の得点化の方法

- ・ 満足度の得点 = (満足の回答者数×5点+やや満足の回答者数×4点+普通の回答者数×3点+やや不満の回答者数×2点+不満の回答者数×1点) / 対象項目の回答者数
- ・ 満足度の得点 = (重要な回答者数×5点+やや重要な回答者数×4点+普通の回答者数×3点+あまり重要でないの回答者数×2点+重要ではないの回答者数×1点) / 対象項目の回答者数

出典：大田区の交通に関するアンケート調査（平成28年）

⑧自転車の安全利用の推進に向けた効果的な施策

- 自転車の安全利用の推進に向けた効果的な施策として、「自転車走行空間の整備促進」を全回答者1,282人中895人（約70%）が挙げています。
- 「学校での安全教育の義務化」は872人（約68%）が効果的と回答しています。



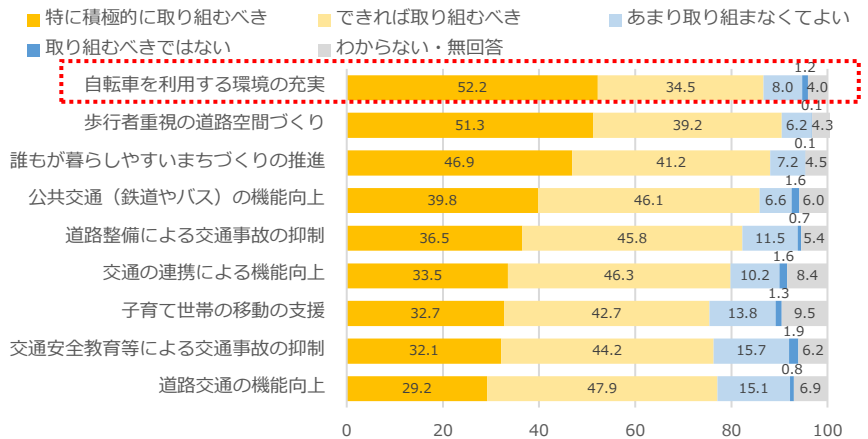
⑨「自転車利用環境」の施策の優先度

- 【暮らし】【環境】のどちらの視点においても「自転車を利用する環境の充実」の優先度が高くなっており、「特に積極的に取り組むべき」が半数を超え、「できれば取り組むべき」を含めると約9割が取り組むべきと回答しています。

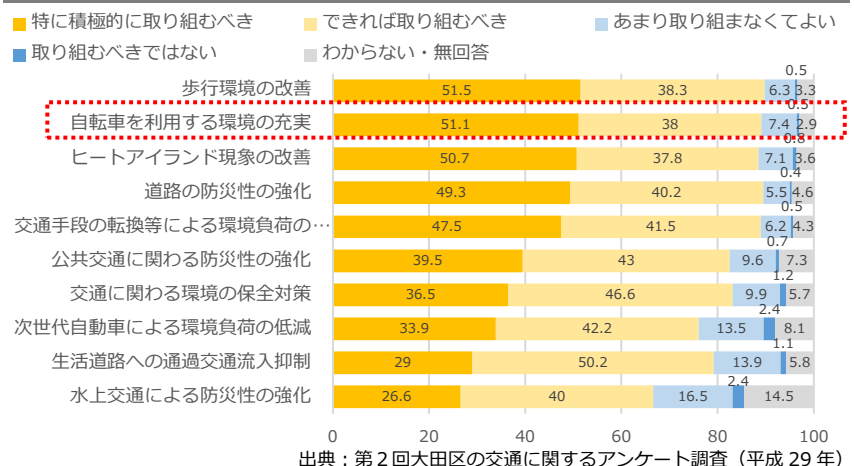
■交通施策の優先度

※大田区交通政策基本計画の策定にあたり実施されたアンケート調査において、自転車を含む全ての交通手段に関する施策の方向性の優先度を評価するための設問より整理しました。
「自転車を利用する環境の充実」を【暮らし】【環境】視点の施策とし、優先度を評価しています。

【暮らし】の視点



【環境】の視点

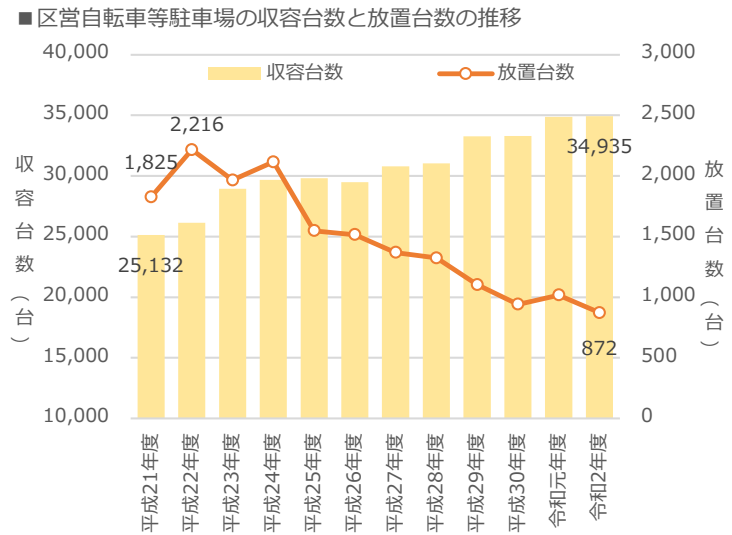


3. 前総合計画の成果と課題

(1)【とめる】自転車等駐車対策

①自転車等駐車場の整備促進と放置自転車等の減少

- 区では自転車等駐車場の整備を進めており、令和2年度には区営自転車等駐車場で約3万5千台の収容台数を確保することができました。
- 自転車等の放置台数も平成25年度以降は減少傾向にあり、令和2年度には872台となりました。



出典：収容台数 大田区調べ
 放置台数 駅前放置自転車等の現況と対策（東京都）
 ※各年10月の任意の1日に調査した放置台数であり、
 原動機付自転車を含んでいます。

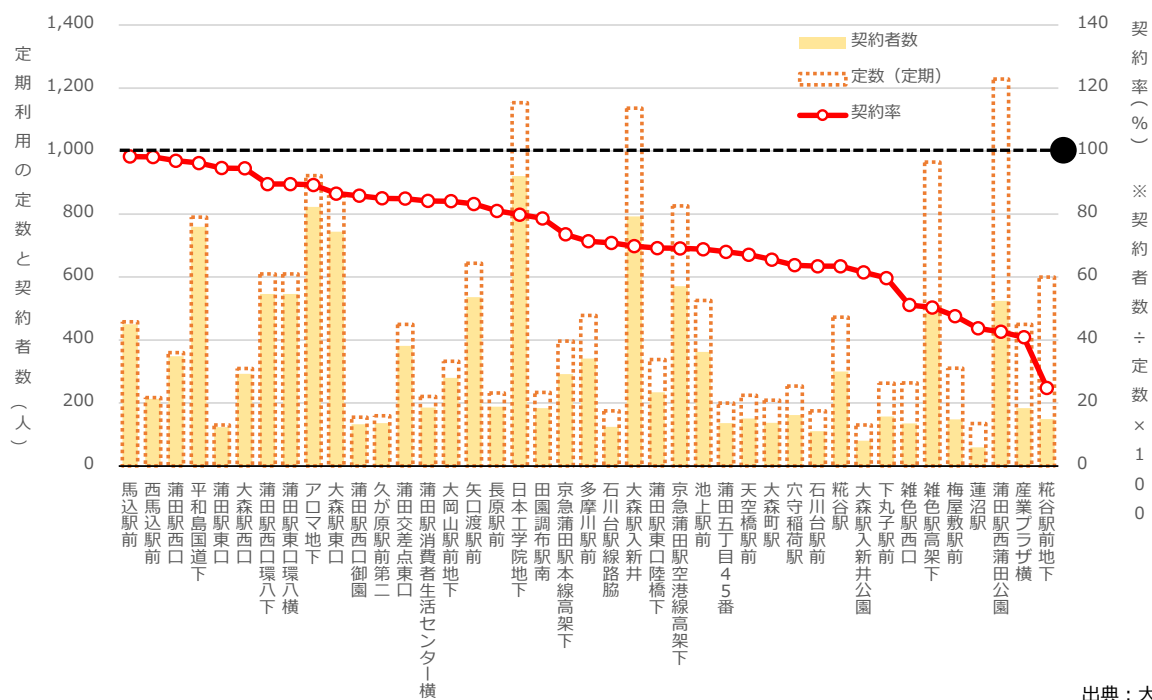
■ 区営自転車等駐車場の整備位置 ※鉄道駅より半径300mを併記（黄色円）



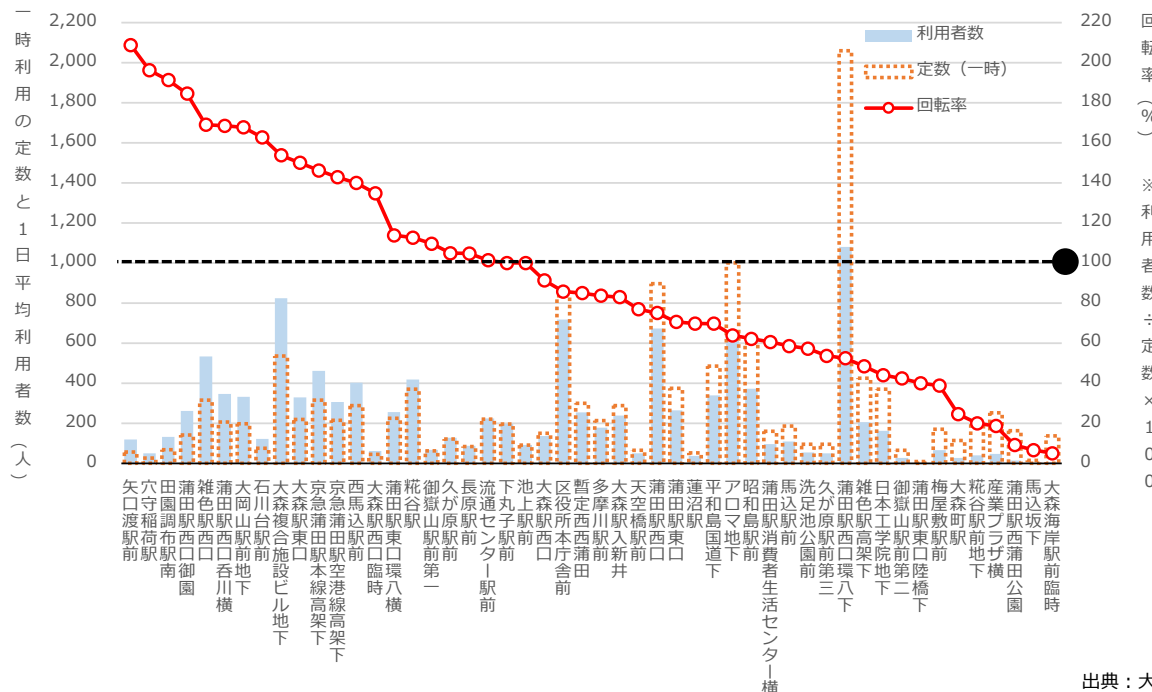
②自転車等駐車場の利用状況

- 定期利用については、蒲田駅と大森駅周辺の契約率が高い傾向です。一時期は収容可能数に対して概ね80%を超え、ほぼ空きがない状況でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大後の令和2年9月時点では契約率が軒並み減少し、今後の動向も不透明な状況です。
- 東急電鉄や都営地下鉄の駅周辺では、一時利用の定数に対して高頻度で利用されているところが多く、比較的余裕のあるところでは定期利用の契約率が下がる状況です。

■定期利用自転車等駐車場の契約率（令和2年9月時点）



■一時利用自転車等駐車場の回転率（令和2年9月時点）



③鉄道事業者と連携した自転車駐車場の整備

- 区では鉄道事業者と連携して自転車駐車場を整備しており、平成25年以降、京急線の高架下を中心に6か所整備しています。

■鉄道高架下の自転車駐車場の整備実績

	設置年月日	収容台数
大森町駅自転車駐車場	H28/6/1	323
京急蒲田駅本線高架下自転車駐車場	H28/6/1	713
京急蒲田駅空港線高架下自転車駐車場	H28/6/1	1,041
糀谷駅自転車駐車場	H28/7/1	844
梅屋敷駅自転車駐車場	H29/6/1	481
雑色駅高架下自転車駐車場	H29/6/1	1,390



④民間事業者による自転車等駐車場整備に対する補助

- 区では、民間事業者による自転車等駐車場の整備を促進するため、鉄道駅から概ね300m以内で収容台数30台以上の駐車場を整備する場合の経費を一部補助する制度を設けています。
- これまでに補助金を活用して、区内14か所（うち1か所は廃止済み）、自転車3,054台、原動機付自転車115台の民間自転車等駐車場が整備されています。

■補助金制度の概要（令和3年4月1日現在）

構造	運営期間	基準単価（1台）	
平地式	5年	50,000円	
立体	地上式	7年	150,000円
	地下式	10年	300,000円
自走式	10年	300,000円	
立体機械式	10年	250,000円	

⑤附置義務制度に基づく自転車駐車場の整備

- 区の附置義務制度では、店舗面積等が200㎡を超える場合に施設の用途に応じて、面積に相当する台数の確保を求めています。
- 昭和63年の自転車条例施行以降、小売店と飲食店を中心に累計で187件の申請があり、16,170台分の附置義務自転車駐車場が整備されてきました。

■附置義務制度の概要

施設の用途	施設の規模	自転車駐車場の規模	面積算定施設
パチンコ店、ゲームセンターその他の遊技場	200㎡超	10㎡/台	店舗面積
映画館、劇場その他の興行を目的とする施設及びカラオケボックス	200㎡超	15㎡/台	店舗面積
百貨店、スーパーマーケットその他の小売店及び飲食店	200㎡超	15㎡/台	店舗面積
物品（音楽、映像等の複製物及び書籍）を賃貸する事業所	200㎡超	20㎡/台	店舗面積
銀行、信用金庫その他の金融機関及び郵便局	200㎡超	25㎡/台	店舗面積
スポーツ、体育、健康の増進を目的とする施設	200㎡超	25㎡/台	運動場面積
学習、教育、趣味等の教授を目的とする施設	200㎡超	15㎡/台	教室面積
幼稚園、専修学校、各種学校及び保育所	200㎡超	50㎡/台	教室面積及び保育室面積
病院、診療所及び施術所	200㎡超	25㎡/台	診療室面積及び施術室面積

⑥自転車等駐車場のサービス向上の取組み

- 区では、自転車等駐車場の利便性と安全性の向上に向けて、施設の機械化や交通系ICカードへの対応、防犯カメラの設置等を進めるとともに、大型の子ども乗せ自転車に対応した専用スペースを設けるなど、利用者ニーズに応じた取組みを行っています。



区営自転車等駐車場一覧（令和3年4月1日現在）

①大森地区

機械化	交通系	駅名	駐車場名	設置年月日	収容可能台数		置場構造	管理人の有無	利用形態	利用料金
					自転車	バイク				
		大森	大森駅東口	S59/04/01 H29/09.01(見直し)	1,080	0	鉄骨4層式	常駐	有料制	1日：100円 月額：1,000円・1,400円・1,800円・2,000円
		大森	大森駅西口	H15/07/01 H21/01/26(増)	460	0	平面式	常駐	有料制	1日：100円 月額：1,200円
		大森	大森駅入新井	S59/04/01 H23/04/01(増) H29/09.01(見直し)	1,401	20	鉄骨2層式・平面式、 平面ラック式	常駐	有料制	自転車 1日：100円 原付 月額：1,200円・1,400円・1,700円 1日：200円 月額：3,000円
		大森	大森駅入新井公園	H17/06/01	130	0	平面式	適宜 派遣	有料制 定期のみ	月額：1,400円
●		大森	大森複合施設 ビル地下	H23/03/22	536	0	地下機械ラック式	適宜 派遣	有料制 一時のみ	12時間：100円（最初の3時間は無料）
		平和島	平和島駅前国道下	S56/04/01	1,260	16	平面2段ラック式	常駐	有料制	自転車 1日：100円 原付 月額：1,500円・1,900円 1日：200円 月額：3,000円
		馬込	馬込駅前	H04/04/01 H29/09/01(見直し)	620	24	鉄骨3層式	常駐	有料制	自転車 1日：100円 原付 月額：800円・1,600円・2,000円 1日：200円 月額：3,000円
		西馬込	西馬込駅前	H09/02/01 H29/09/01(見直し)	505	0	平面2段ラック式	常駐	有料制	1日：100円 月額：1,500円・1,800円
●	●	西馬込	馬込坂下	R2/03/01	15	0	平面式、電磁ロック	無人	有料制 一時のみ	24時間：100円
●	●	西馬込	西馬込駅前第二	R2/11/01	355	0	平面式、機械ゲート	適宜 派遣	有料制	1日：100円 月額：1,400円
		池上	池上駅前	H03/04/01 H29/09/01(見直し)	605	12	鉄骨3層式	常駐	有料制	自転車 1日：100円 原付 月額：600円・1,300円・1,600円 1日：200円 月額：3,000円
●		大森	大森駅西口臨時	H17/12/26	46	0	平面機械ラック式	適宜 派遣	有料制 一時のみ	12時間：100円
		大森	大森駅山王小前	S62/08/01	41	5	平面式	無人	登録制	自転車 年額：3,000円 原付 年額：4,000円
●	●	梅屋敷	梅屋敷駅	H29/06/01	481	0	鉄骨2層式、機械ゲート・一部電磁ロック式、垂直2段、ラック	常駐	有料制	12時間：100円（最初の2時間は無料） 月額：1,800円・2,000円
●	●	昭和島	昭和島駅前	H12/04/01 H30/10/01(増)	600	0	平面個別ラック式 スライドラック	無人	有料制 一時のみ	24時間：100円
●		大森海岸	大森海岸駅前臨時	H22/04/01	138	0	平面機械ラック式	無人	有料制 一時のみ	12時間：100円
●	●	流通センター	流通センター駅前	H22/04/01 H29/07/03(増) R2/07/01(有)	185	37	平面式	無人	有料制 一時のみ	自転車 24時間：100円 原付 1日：200円 自動二輪 1日：300円
●	●	大森町	大森町駅	H28/06/01	323	0	鉄骨2層式、機械ゲート・一部電磁ロック式、垂直2段、ラック	常駐	有料制	12時間：100円（最初の2時間は無料） 月額：1,800円・2,000円

②調布地区

機械化	交通系	駅名	駐車場名	設置年月日	収容可能台数		置場構造	管理人の有無	利用形態	利用料金
					自転車	バイク				
		鶯の木	鶯の木駅前	H14/04/01	45	0	平面式	無人	登録制	年額：3,000円
		鶯の木	鶯の木駅前交番横	H18/04/01	78	0	平面式	無人	登録制	年額：3,000円
		沼部	沼部駅前	H19/04/01	50	0	平面ラック式	無人	登録制	年額：3,000円
		多摩川	多摩川駅前	H11/04/01	665	0	平面2段ラック式他	常駐	有料制	自転車 1日：100円 月額：1,000円・1,700円・2,000円
		多摩川	多摩川台公園下	S56/04/01	80	0	平面式	無人	登録制	年額：3,000円
●		久が原	久が原駅前	H24/04/10	122	0	平面機械ラック式	常駐	有料制 一時のみ	12時間：100円
		久が原	久が原駅前第二	H27/04/01 H31/04/01(見直し)	160	0	平面式	適宜 派遣	有料制 定期のみ	月額：1,700円
●	●	久が原	久が原駅前第三	R2/03/01	95	0	平面機械ラック式	無人	有料制 一時のみ	12時間：100円（最初の1時間は無料）
●		御嶽山	御嶽山駅前第一	H25/04/01	62	0	平面機械ラック式	無人	有料制 一時のみ	12時間：100円
●		御嶽山	御嶽山駅前第二	H25/06/01	66	0	平面機械ラック式	無人	有料制 一時のみ	12時間：100円
		雪が谷大塚	雪が谷大塚駅前	H03/01/20 H30/04/01(見直し)	150	0	平面式	無人	登録制	年額：3,000円
		雪が谷大塚	雪が谷大塚町	H22/04/01	147	0	平面ラック式	無人	無料制	
		石川台	石川台駅線路脇	S63/04/01	165	10	平面ラック式	適宜 派遣	有料制 定期のみ	自転車 月額：1,700円 原付 月額：3,000円
		石川台	石川台駅柳橋	H01/02/01	69	0	平面式	無人	無料制	
		石川台	石川台駅一の橋	H01/05/01	55	0	平面式	無人	登録制	年額：3,000円
		石川台	石川台駅前	H22/04/01	250	0	鉄骨3層式	常駐	有料制	1日：100円 月額：2,000円
		洗足池	洗足池駅前	H17/04/01 H29/04/01(増)	200	0	平面式	無人	登録制	年額：3,000円
●	●	洗足池	洗足池公園前	H28/09/01 H29/04/01(有)	96	0	平面機械ラック式	無人	有料制 一時のみ	12時間：100円
		長原	長原駅交番横	S58/04/01	70	0	平面式	無人	登録制	年額：3,000円
●		長原	長原駅前	H05/11/01	306	10	平面機械ラック式	常駐	有料制	自転車 24時間：100円 原付 月額：1,300円 1日：200円 月額：3,000円
		長原	長原駅北側	S58/04/01	59	0	平面式	無人	無料制	
		北千束	北千束駅前	S59/11/01	55	0	平面式	無人	登録制	年額：3,000円
●	●	大岡山	大岡山駅前地下	H18/04/01 H31/04/01(見直し)	521	10	平面機械ラック式他	常駐	有料制	自転車 24時間：100円 月額：2,000円 原付 月額：3,000円
●		田園調布	田園調布駅南	H11/04/01	277	26	平面機械ラック式	常駐	有料制	自転車 24時間：100円 原付 月額：1,700円 1日：200円 月額：3,000円

③蒲田地区

	駅名	駐車場名	設置年月日	収容可能台数		置場構造	管理人の有無	利用形態	利用料金	
				自転車	バイク					
	蒲田	蒲田駅西口	S61/06/01	1,257	0	鉄骨4層式	常駐	有料制	1日：200円(4時間以内は150円返金) 月額：1,000円・2,000円	
	蒲田	蒲田駅東口	S62/06/01	504	0	鉄骨4層式	常駐	有料制	1日：200円(4時間以内は150円返金) 月額：1,000円・2,000円	
	蒲田	蒲田交差東口	S64/01/01	450	0	平面ラック式	無人	有料制 定期のみ	月額：1,200円	
●	●	蒲田	日本工学院地下 H19/04/01 H23/04/01(増)	1,524	0	地下機械ゲート式 (ラック式)	常駐	有料制	24時間：100円 月額：600円・1,000円・1,200円	
	蒲田	アロマ地下	H10/11/01	1,858	64	地下2段ラック式	常駐	有料制	自転車 1日：100円 月額：1,200円・1,700円 原付 1日：200円 月額：3,000円	
●		蒲田	蒲田駅東口環八横	H02/11/01	835	0	鉄骨3層ゲート式	常駐	有料制	24時間：100円(最初の2時間は無料) 月額：600円・1,200円・1,800円
	蒲田	蒲田駅消費者 生活センター横	H02/04/01	421	0	鉄骨3層式	常駐	有料制	1日：100円 月額：700円・1,200円	
●		蒲田	蒲田五丁目45番	H22/09/10	200	0	平面機械ゲート式	無人	有料制 定期のみ	月額：1,600円
	蒲田	蒲田駅東口 臨時駐輪帯	H21/09/07	125	0	平面式	適宜派遣	無料制	(利用は2時間まで)	
	蒲田	蒲田駅西口 臨時駐輪帯	H21/09/07	225	0	平面式	適宜派遣	無料制	(利用は2時間まで)	
	蒲田	蒲田駅東口陸橋下	H05/04/01	328	20	2段ラック式	常駐	有料制	自転車 1日：100円 月額：700円・1,200円 原付 1日：200円 月額：3,000円	
●	●	蒲田	区役所本庁舎前 H12/04/01 H29/10/01(増)	837	0	鉄骨2層ゲート式	適宜派遣	有料制 一時のみ	24時間：100円	
●		蒲田	蒲田駅西口御園	S61/06/01	297	0	平面ラック式、 平面電磁ロック式	無人	有料制	12時間：100円(最初の3時間は無料) 月額：1,200円
	蒲田	蒲田駅西蒲田公園	H06/04/01 H31/4/1(増)	1309	34	地下2段ラック式	常駐	有料制	自転車 1日：100円 月額：500円・1,200円 原付 1日：200円 月額：3,000円	
●	●	蒲田	暫定西蒲田	R01/05/10	300	0	機械ゲート式、 平面ラック式	無人	有料制 一時のみ	自転車 24時間：100円
●		蒲田	蒲田駅西口環八下	H11/04/01	2026	33	平面式・2層式、 機械ゲート	常駐	有料制	自転車 24時間：100円 原付 1日：200円
	蒲田	蒲田香川右岸	S51/04/01	450	0	平面式	無人	登録制	年額：3,000円	
	蒲田	蒲田あやめ橋	S61/04/01	90	0	平面式	無人	登録制	年額：3,000円	
●	●	蒲田	蒲田駅西口呑川横 H16/09/01 H29/04/01(有)	206	0	電磁ロック式	無人	有料制 一時のみ	12時間：100円(最初の2時間は無料)	
	矢口渡	矢口渡駅前	S49/04/01	704	0	平面ラック式、2段ラック式	常駐	有料制	1日：100円 月額：900円・1,500円	
	武蔵新田	武蔵新田(土手側)	S51/04/01	100	0	平面式	無人	無料制		
●		下丸子	下丸子駅前 S63/04/01 H13/4/1 H31/1/9(増)	623	10	平面式、 平面機械ラック式、 2段ラック式	常駐	有料制	自転車 24時間：100円 月額：1,100円・1,700円 原付 月額：3,000円	
●	●	蓮沼	蓮沼 S61/04/01 H29/04/01(有)	138	50	平面機械ラック式、 電磁ロック式 (一時利用の 自動二輪)	無人	有料制	自転車 24時間：100円 (最初の2時間無料) 月額：1,400円 原付 1日：200円 月額：3,000円 自動二輪 1日：300円 月額：6,000円	
	千鳥町	千鳥町駅前	H04/04/01	190	0	地下ラック式	無人	無料制		
●	●	京急蒲田	産業プラザ横 H10/05/01 H26/12/1(増)	702	0	機械ゲート式・ 2段ラック	無人	有料制	24時間：100円(最初の2時間は無料) 月額：1,200円	
	京急蒲田	京急蒲田呑川緑道	H24/04/01	100	0	平面式	無人	登録制	年額：3,000円	
●	●	京急蒲田	京急蒲田駅本線 高架下	H28/06/01	713	0	鉄骨2層式、機械ゲート・一部電磁ロ ック式、垂直2段、ラック	適宜 派遣	有料制	12時間：100円(最初の2時間は無料) 月額：2,000円
●	●	京急蒲田	京急蒲田駅空港線 高架下	H28/06/01	1,041	0	鉄骨2層式、機械ゲート式、垂直2段・ スライド式ラック	常駐	有料制	12時間：100円(最初の2時間は無料) 月額：2,000円
●	●	雑色	雑色駅西口 H23/03/01 H27/9/1(増) H29/12/21(機械化)	558	22	平面式・ 機械ゲート・ 電磁ロック(一時の 原付・自二)	適宜 派遣	有料制	自転車 12時間：100円 (最初の2時間無料) 月額：1,600円 原付 1日：200円 月額：3,000円 自動二輪 1日：300円	
	雑色	雑色	S59/09/01	200	0	平面式	無人	無料制		
●	●	雑色	雑色駅高架下	H29/06/01	1,390	0	鉄骨2層式、機械ゲート・一部電磁ロ ック式、垂直2段、ラック	常駐	有料制	12時間：100円(最初の2時間は無料) 月額：1,500円・1,700円・1,800円 ・2,000円
	六郷土手	六郷土手(高架下)	S61/04/01	343	0	平面式	無人	無料制		

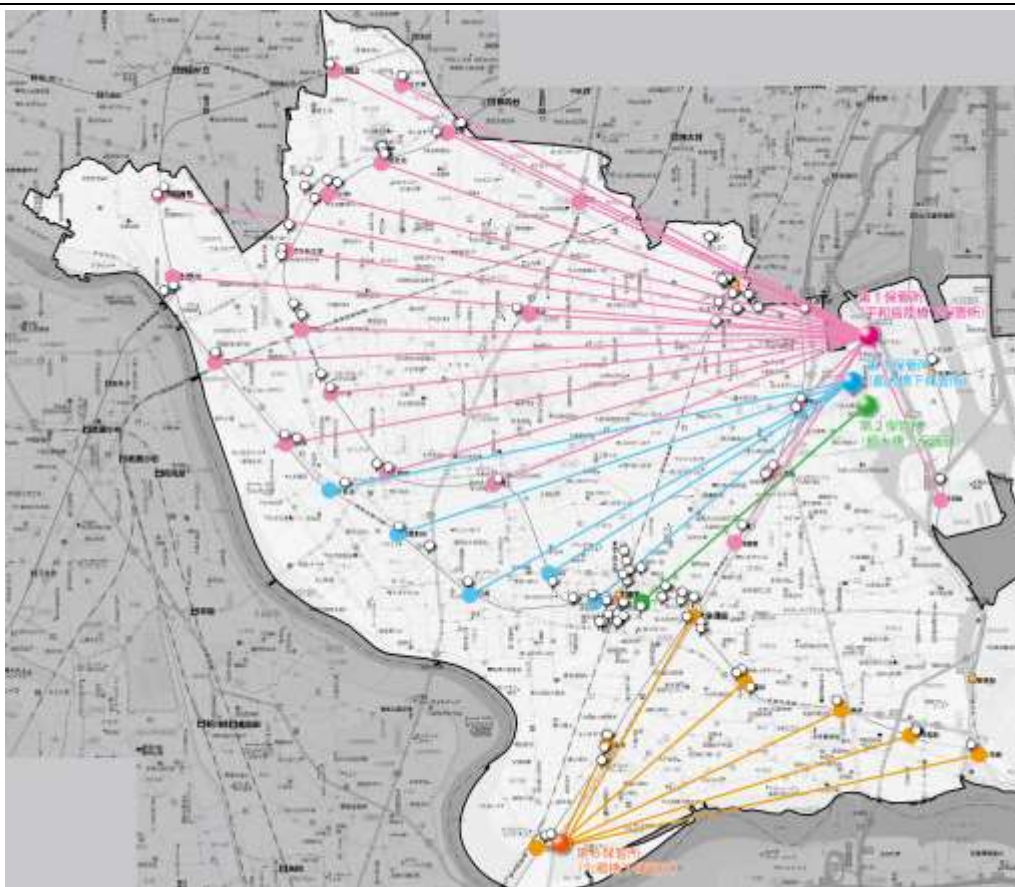
④糀谷・羽田地区

	駅名	駐車場名	設置年月日	収容可能台数		置場構造	管理人の有無	利用形態	利用料金	
				自転車	バイク					
●	●	糀谷	糀谷駅	H28/07/01	844	0	2層、機械ゲート、 電磁ロック式、 垂直2段ラック	常駐	有料制	12時間：100円(最初の2時間は無料) 月額：1,800円・2,000円
●	●	糀谷	糀谷駅前地下	H29/04/01	840	0	機械ゲート、 スライド式ラック	適宜 派遣	有料制	12時間：100円(最初の2時間は無料) 月額：1,800円
	穴守稲荷	穴守稲荷駅前	H05/11/01	280	0	2段ラック式	常駐	有料制	1日：100円 月額：1,200円・2,000円	
	天空橋	天空橋駅前	H05/11/01	260	30	平面式	常駐	有料制	自転車 1日：100円 月額：1,400円 原付 1日：200円 月額：3,000円 自動二輪 1日：300円 月額：4,000円	

⑦自転車等放置禁止区域の設定と放置自転車の撤去

- 区内 35 駅で自転車等放置禁止区域を指定しており、令和 2 年度には区域内での即時撤去も含めて、年間約 1.3 万台の撤去を行っています。
- 撤去自転車は、区内 4 か所の保管所（合計 3,000 台収容可能）に収容し、自転車 1 台につき 3,000 円の撤去手数料を徴収して返還しています。令和 2 年度の返還率は約 65%で、返還されなかった自転車は再生（海外譲渡、庁内利用等）、売却または廃棄しています。

■自転車等放置禁止区域の指定、放置自転車の撤去、保管所の状況



1) 放置禁止区域・放置禁止区域に準じた区域の指定 (35 駅) と保管所

	放置禁止区域・放置禁止区域に準じた区域*	保管所
J R 線	大森駅	第 1 保管所（平和島陸橋下保管所）
東急線	北千束駅、大岡山駅、田園調布駅、多摩川駅、沼部駅、鶴の木駅*、長原駅、洗足池駅、石川台駅、雪が谷大塚駅、御嶽山駅、久が原駅、千鳥町駅、池上駅	
京浜急行線	大森海岸駅*、平和島駅、大森町駅*、梅屋敷駅	
都営浅草線	馬込駅、西馬込駅	
東京モトル線	昭和島駅*、流通センター駅*	第 2 保管所（都大橋下保管所）
J R 線	蒲田駅（東口）	
J R 線	蒲田駅（西口）	第 3 保管所（都大橋下保管所）
東急線	矢口渡駅、武蔵新田駅、下丸子駅*、蓮沼駅*	第 6 保管所（六郷橋下保管所）
京浜急行線	京急蒲田駅、雑色駅、六郷土手駅*、穴守稲荷駅、天空橋駅、靴谷駅、大鳥居駅*	

2) 放置自転車等の撤去、返還、廃棄、売却・再生台数

年度	撤去台数(台)	返還台数(台)	返還率 (%)	廃棄台数(台)	再生台数(台)	売却台数(台)
H 28	27,195	17,847	65.6	5,166	401	4,312
H 29	23,758	15,472	65.1	5,626	406	2,337
H 30	21,156	13,602	64.3	1,773	358	5,533
R 1	20,365	13,514	66.4	1,582	439	5,076
R 2	13,265	8,568	64.6	1,204	244	3,567

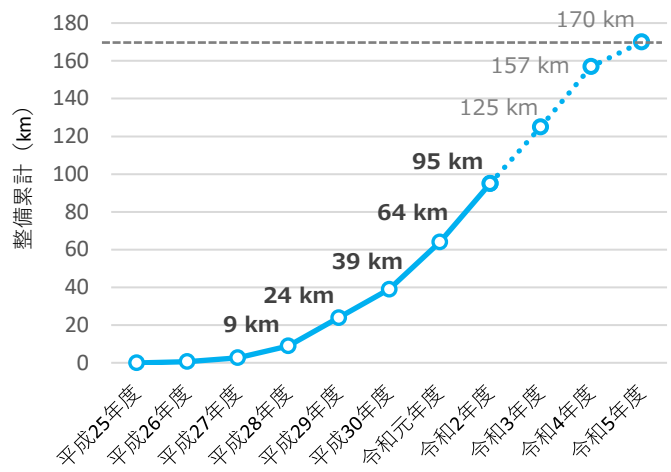
出典：大田区調べ

(2)【はしる】自転車走行環境の整備

①自転車走行環境の整備

- ネットワーク計画に基づく約 170km の対象路線のうち、令和 2 年度末時点で約 95km の整備が完了しています。
- 当初は令和 7 年度末までの整備完了を予定していましたが、毎年の整備ペースを加速し、令和 5 年度末までの全区間整備を目指しています。

■自転車走行環境整備の推移と今後の整備予定



■自転車走行環境の整備実績



大田区自転車ネットワーク整備実施計画

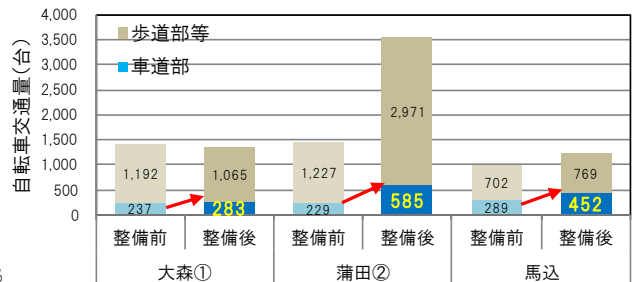
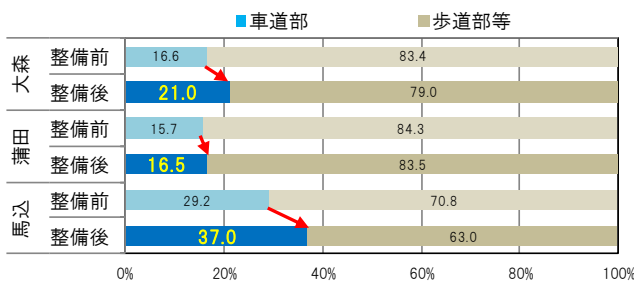
整備予定区間 (令和 5 年度末) 約 170km
整備済み区間 (令和 2 年度末) 約 95km

【参考】東京都自転車推奨ルート

大田区内整備済み区間 約 3.2km

②自転車走行環境整備前後の自転車走行位置と交通量の変化

- 自転車走行環境を整備した区間について、車道・歩道の走行位置、整備前後での交通量の変化等を検証するために、効果測定を行いました。
- 平成 28 年度に実施した調査では、自転車の車道通行の比率は整備前と比べて増加していますが、2割程度と低い区間もあります。

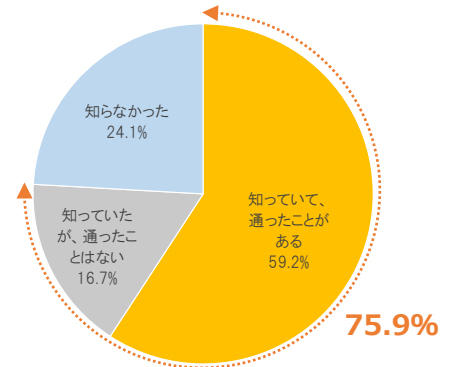


出典：大田区自転車走行環境普及基礎調査（平成 28 年）

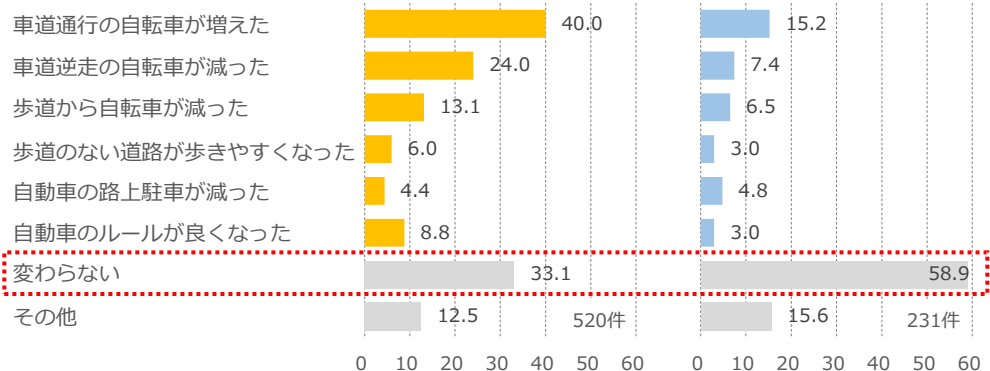
③自転車ナビマーク・ナビラインの認知度と整備効果

- 自転車ナビマーク・ナビライン（矢羽根型路面標示）の認知度については、「知っている、通ったことがある」と「知っていたが、通ったことはない」を合わせて 75.9%と高い状況です。
- 自転車ナビマーク等の整備効果については、普段自転車を利用する人の 33.1%、自転車を利用しない人の 58.9%が「変わらない」と回答しており、正しい通行ルールの周知を図ることが必要です。

自転車ナビマーク・ナビラインの認知度



自転車ナビマーク・ナビライン整備による効果（左：利用者／右：未利用者）

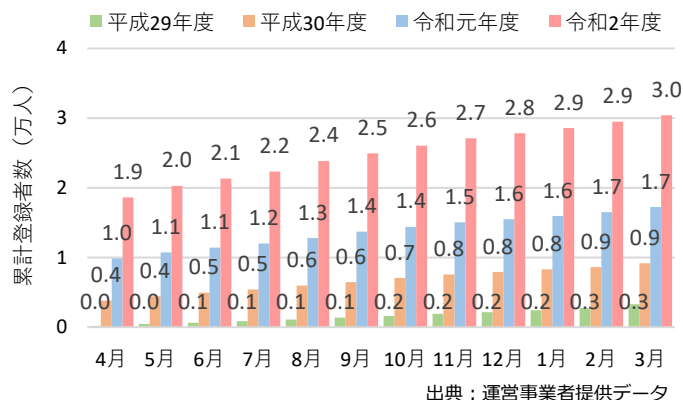


出典：大田区自転車に関するアンケート調査（令和元年）

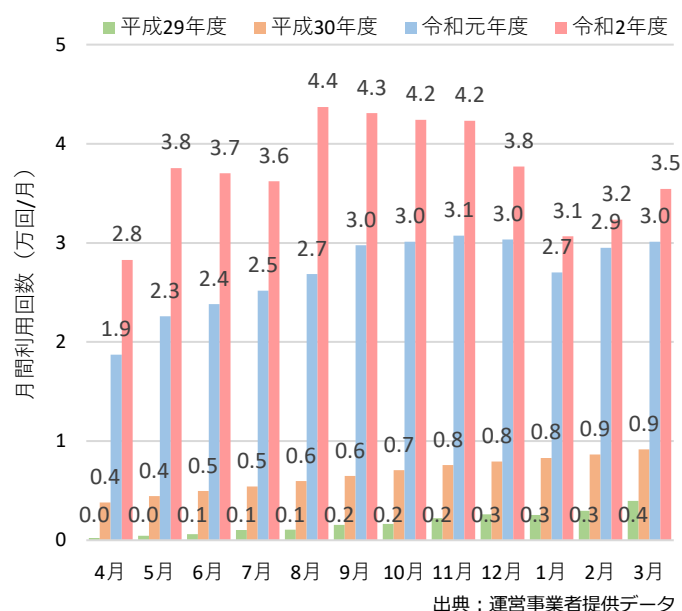
④シェアサイクルの検証実施

- 区では、(株)ドコモ・バイクシェアと協定を結び「大田区コミュニティサイクル事業」を平成29年3月から3年間、試行事業として実施しました。試行事業の最終年度となる令和元年度に利用状況や期待される事業効果等を検証し、本格事業への移行の可否を判断するための条件値を設定しました。令和2年度からは、その条件値への推移を管理するため、新たに検証期間を設けて事業を実施しています。
- 会員登録数は、令和3年3月に3万人を超え、月間利用回数もピークの8月～11月で4万回を超えています。
- シェアサイクルが区民の移動手段として浸透しつつある中で、導入効果の検証を進め、他区との広域連携の方向性を踏まえながら、本格導入を検討していく必要があります。

■登録者の推移



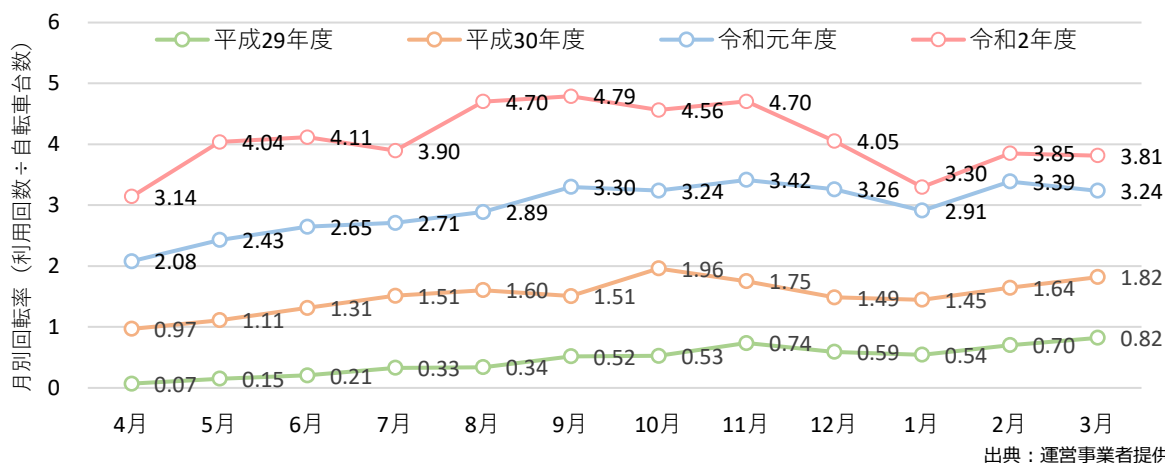
■月間利用回数の推移



⑤シェアサイクルの回転率

- 大田区におけるシェアサイクルの回転率（利用回数÷自転車台数）は過去最高で4.79回/台となっており、当初の1.0回/台から堅調に増加しています。本格導入に向けては、さらに回転率を高めていく必要があります。

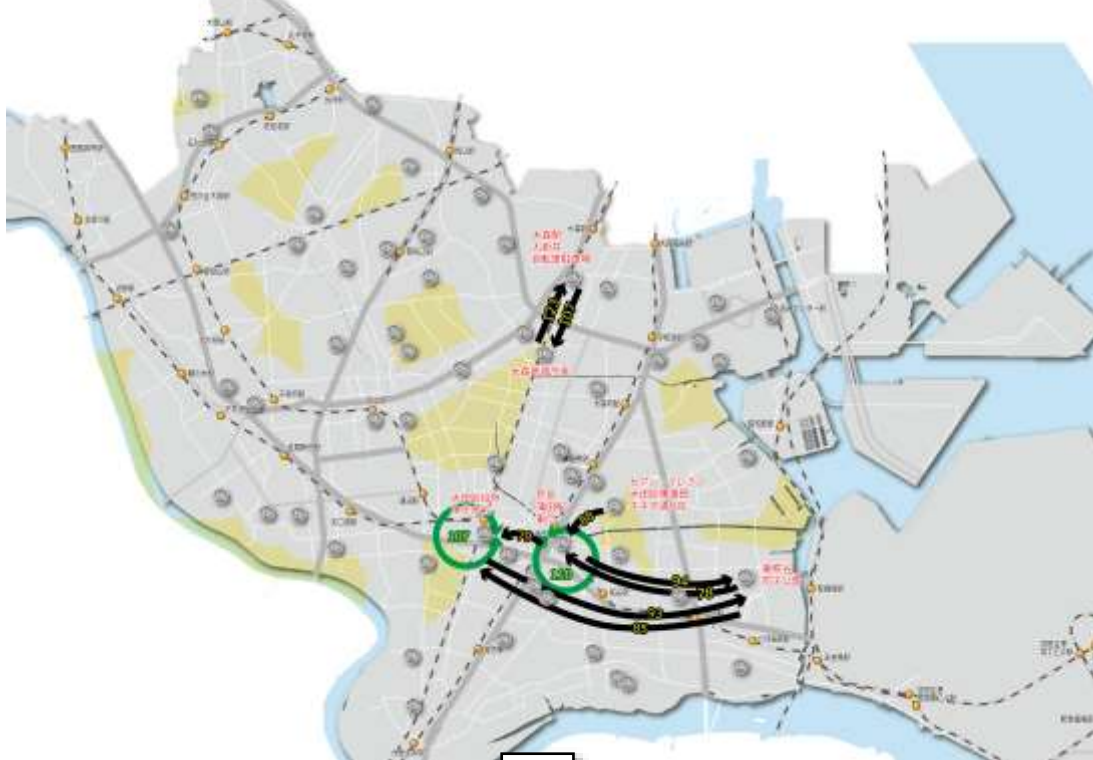
■大田区の月別回転率の推移



⑥サイクルポートの利用状況の変化

- 平成30年5月と令和3年4月時点の利用回数が多かったサイクルポート間での移動状況を比較すると、ポートが増え、様々な地域で利用されるようになったことから、さらなる拡充による利便性向上が期待できます。

■ 利用が多いポート間の移動
(広域連携参加直後：平成30年5月時点)



■ 利用が多いポート間の移動
(最大利用月：令和3年4月時点)



■ 留意すべき事項①

久が原、南馬込、西蒲田など、区西部の交通不便地域周辺での利用は多く行われていますが、交通不便地域内のポートは少ない状況です。

■ 利用が多いポート

大森駅の最寄りポートから、大森地域庁舎の最寄りポート間の移動に多く利用されています。

■ 利用が多いポート

蒲田駅・京急蒲田駅の最寄りポートでは、貸出し・返却ともに同じポートの「レンタサイクル」のような利用が多くなっています。

■ 留意すべき事項②

広域連携参加直後に利用が多かった東糀谷防災公園と蒲田駅・京急蒲田駅間の移動は、当時と変わらず多くなっています。

ポート間移動（上位10位）

→ 別ポートに返却

→ 同じポートに返却

コミュニティサイクルポート

● 利用数の多い上位10位

● 利用数11位以下

※単位村々の利用数は、貸出数+返却数

交通不便地域

● 鉄道駅 半径500m、

● バス停 半径300m以上の地域

(3)【まもる】自転車のルール・マナーの啓発

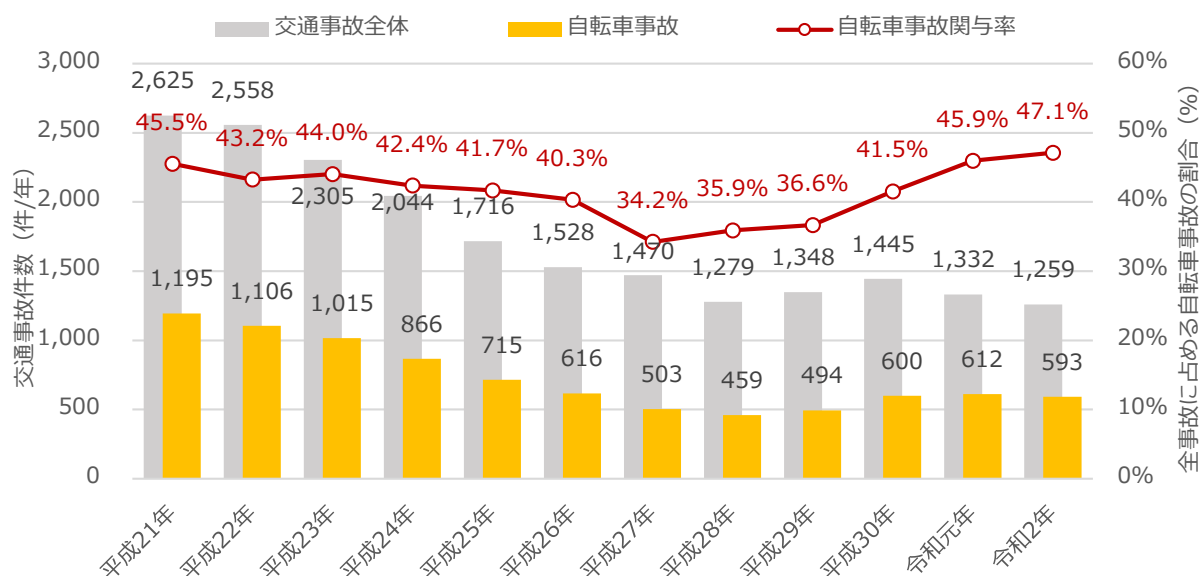
①交通安全教育と周知・啓発の年齢層別取組状況

- 区では、警察等と連携・協力しながら、未就学児、小・中学生、高齢者向けを中心に交通安全教育を実施してきました。

年齢層	交通安全教育（講習会、体験会等）						周知・啓発（チラシ配布等）			
未就学児	交通安全移動教室（S58～）	交通安全指導者研修会（S47～）	交通安全運動（春・秋）	自転車押し歩き運動（H24～）	たまりバー交通安全啓発運動（H22～）	OTAふれあいフェスタでのスケアード・ストレイトイベント（H22～）	萩中公園でのスケアード・ストレイトイベント（H28～）	公道でのスケアード・ストレイトイベント（H26～H28）	交通安全だより(S45～)	交通安全運動での啓発チラシ配布
小学生（低学年）		交通安全巡回指導（H9～） ※自転車教室等							交通安全だより(S45～)	
小学生（高学年）									交通安全だより(S45～)	
中学生	中学生向けスケアード・ストレイト（H22～）								中学生向けスケアード・ストレイトでの啓発チラシ配布（H22～）	
高校生	高校生向けスケアード・ストレイト（R2～）								高校生向けスケアード・ストレイトでの啓発チラシ配布（R1～）	
大学生										
大人	自転車安全利用 TOKYO セミナー ※R1より大田区での開催を誘致								鉄道駅、バス車内等でのポスター掲出（R1～）	
高齢者	交通安全のつどい（H9～）	高齢者交通安全体験教室（H7～）			高齢者との交通安全集会（S47～）	高齢者向けイベントでの啓発チラシ配布（S47～）				

②自転車事故の発生件数

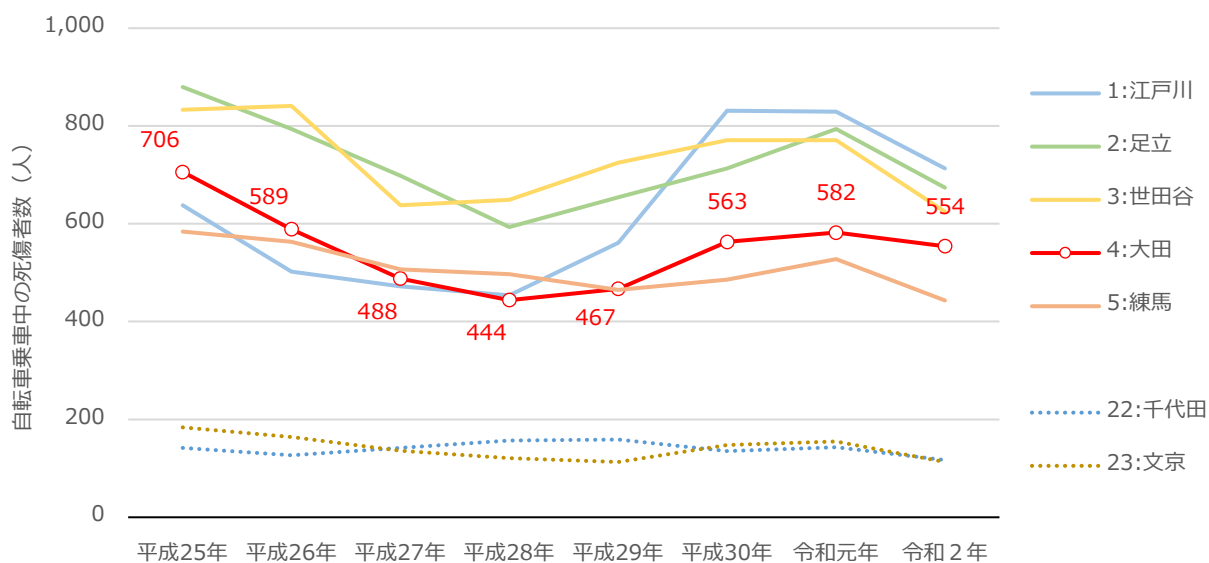
- 大田区内の自転車事故件数は平成 28 年まで減少傾向にありましたが、近年は増加傾向に転じ、令和 2 年には 593 件となっています。
- 交通事故全体に占める自転車事故の割合（自転車事故関与率）は令和 2 年に 47.1%となっており、交通安全教育等の取組みを継続・充実させていく必要があります。



出典：大田区交通安全のあらまし

③自転車乗車中の死傷者数

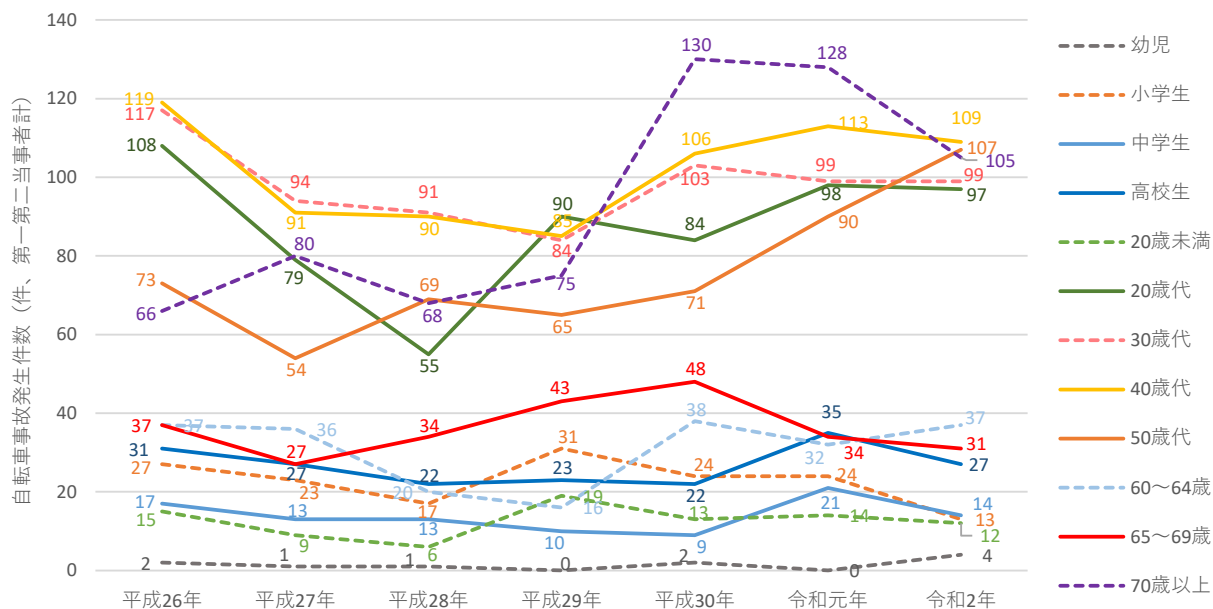
- 自転車乗車中の死傷者数の推移を他区と比較してみると、区域面積が広く、人口の多い自治体を中心に死傷者数が多くなっており、大田区は 23 区中 4 番目に多くなっています。



出典：東京の交通事故（警視庁）

④年齢層別の自転車事故件数

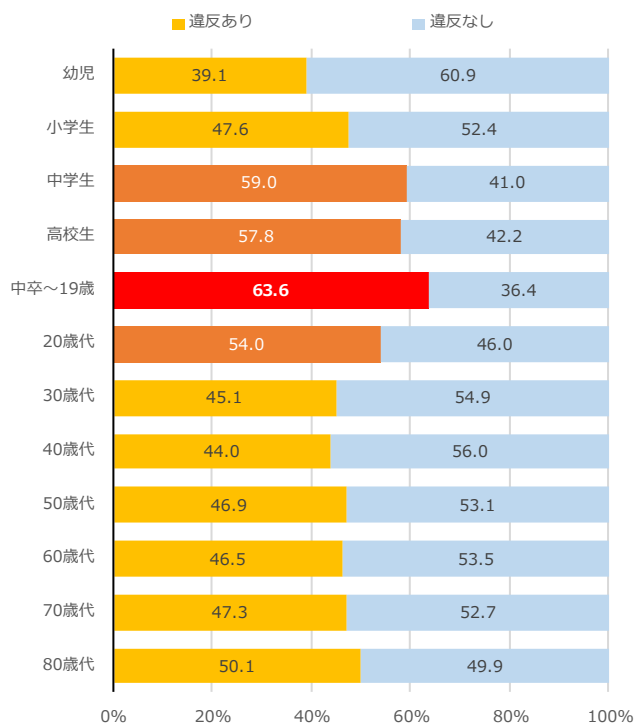
- 大田区内で発生した自転車事故の発生件数を年齢層別に整理すると、令和2年時点では特に「50歳代」の自転車事故件数が大きく増加しています。
- 20歳以上の自転車事故件数は、20歳未満の若年層と比較して非常に多くなっているため、成人に向けた交通安全教育の取組みを強化していく必要があります。



出典：大田区交通安全のあらまし

⑤自転車事故の年齢別違反割合

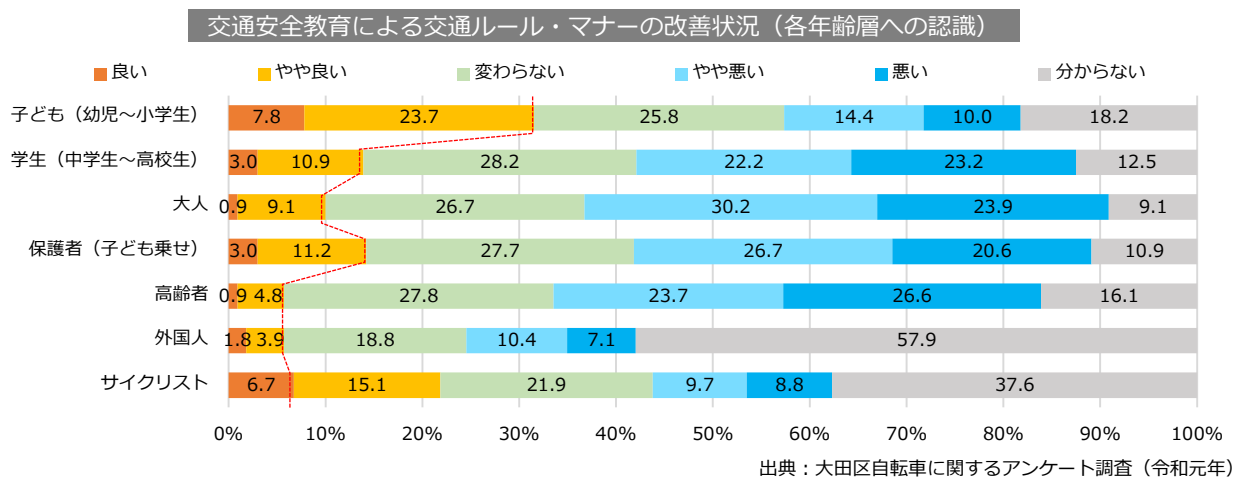
- 年齢層別の自転車事故件数に対して、自転車側の交通ルール違反の有無を分けると、「中学生」、「高校生」、「中卒～19歳」、「20歳代」の比較的若い世代で、違反者が多くなっています。
- 今後も中学校、高校、大学等と連携し、若い世代の交通安全意識の醸成を図ることが求められています。



出典：東京の交通事故（警視庁、平成30年）

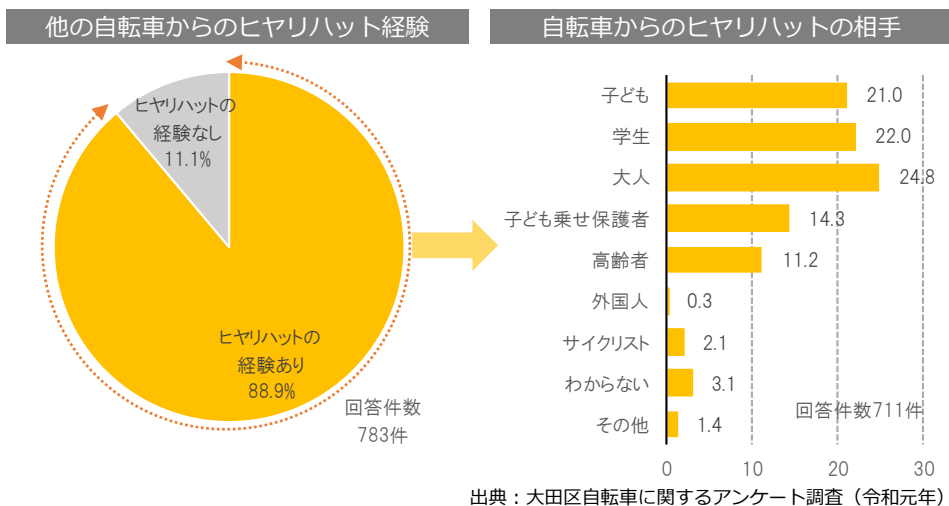
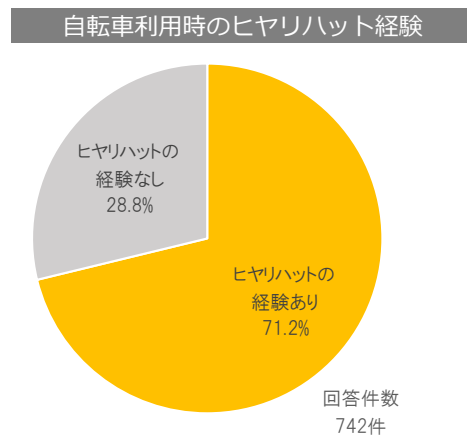
⑥自転車の交通ルール・マナーの改善

- 自転車の交通ルール・マナーの改善状況について、年齢層別では全体的に「変わらない」と感じている人が多い一方、「中学生～高齢者」の自転車利用に対しては「やや悪い」、「悪い」との回答も多く、依然として十分に改善されているとはいえない状況です。



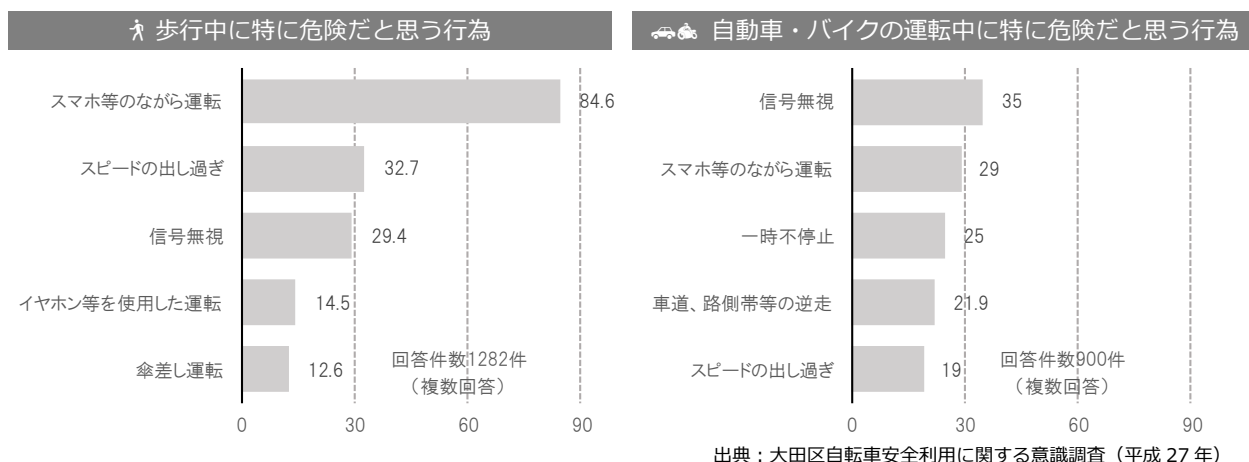
⑦自転車が関わるヒヤリハット経験

- 「自転車利用時」のヒヤリハット経験がある人は71.2%、「他の自転車から」の経験がある人は88.9%となっており、自転車に関連する危険を感じたことがある人が大部分を占める状況です。
- 他の自転車からのヒヤリハット経験では、その相手が「大人」、「学生」、「子ども」の順に多くなっており、あらゆる年齢層に対し、歩行者等への配慮に関する啓発が必要です。



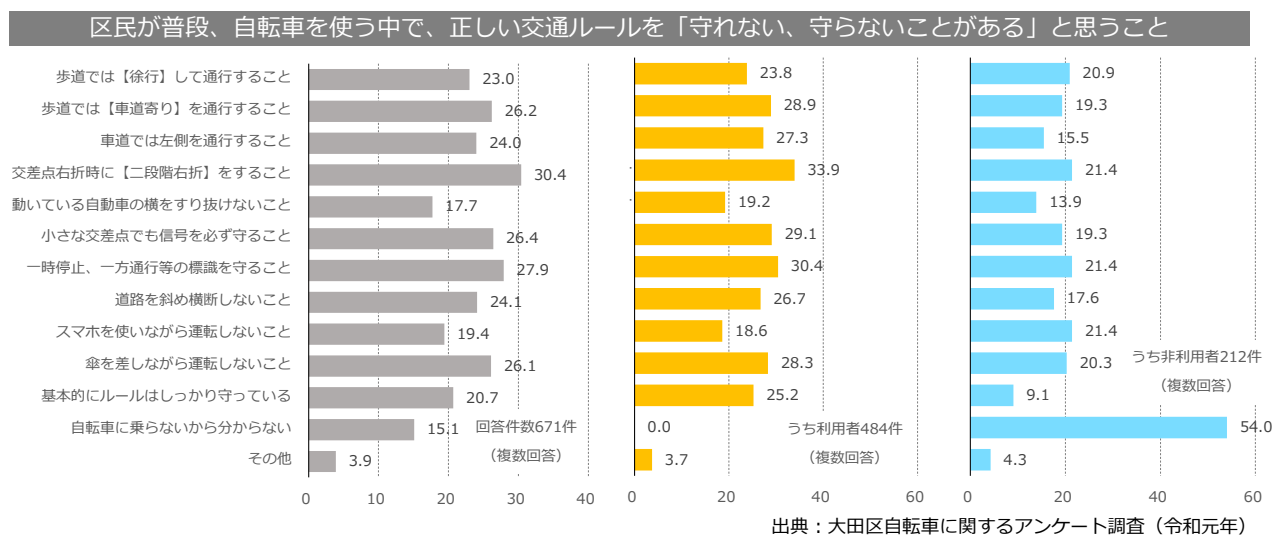
⑧自転車の危険行為

- 歩行中、自動車・バイクの運転中の自転車側の危険行為として、歩行者からは「スマホ等のながら運転」、ドライバーからは「信号無視」の回答が多くなっています。



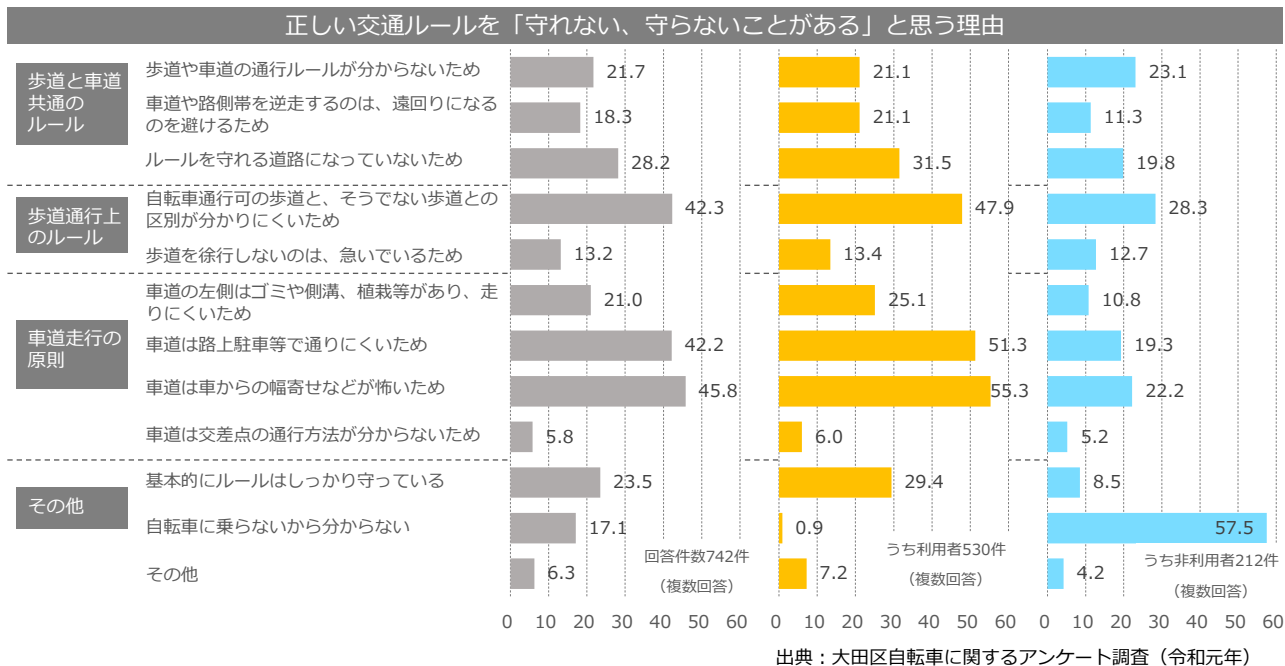
⑨守れない・守らないことがある自転車の交通ルール

- 自転車利用時に守れない・守らないことがある交通ルールについては、「交差点右折時に【二段階右折】をすること」、「一時停止、一方通行等の標識を守ること」、「小さな交差点でも信号を必ず守ること」が多くなっています。



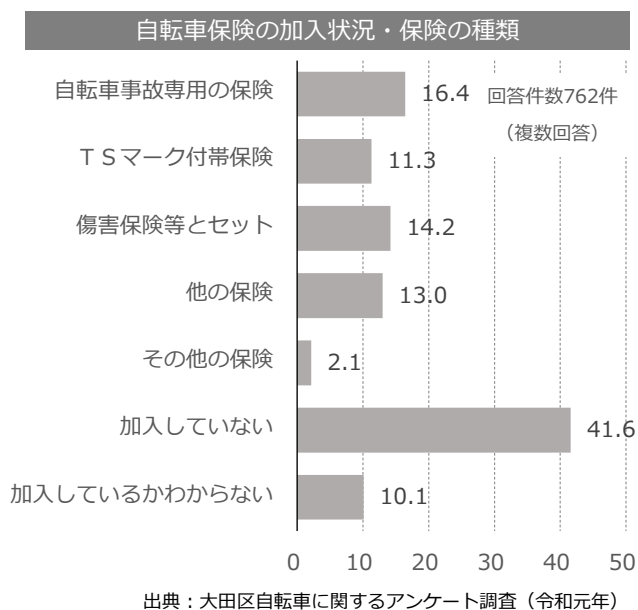
⑩自転車の交通ルールを守れない・守らない理由

- 自転車の交通ルールを守れない・守らないことがある理由として、車道走行の原則に対しては「車道は車からの幅寄せなどが怖いため」、「車道は路上駐車等で通りにくいため」が多くなっています。
- 交通安全教育による自転車利用者への啓発だけでなく、自転車走行環境の整備など、自転車のルール・マナーが守られる環境づくりも必要です。



⑪自転車保険の加入促進

- 令和2年4月に「東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が改正されたことにより、自転車利用者の自転車保険加入が義務化されました。
- 区では、自転車利用者に対して自転車保険の加入を促すための情報提供等の取組みを行っていますが、令和元年のアンケート調査では自転車保険に「加入していない」人が41.6%、「加入しているかわからない」人が10.1%おり、今後も継続的に情報発信していく必要があります。



⑫自転車の交通安全教育の実施

- 区では、幼児向けの交通安全移動教室、中学校での自転車事故再現による体験学習（スクエアード・ストレイト方式）など、継続的に取組みを実施しています。
- イベントでの周知・啓発、メディアを通じた情報提供など、様々な場面を活用した交通安全教育も実施しています。

年 度	28		29		30		1		2	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
交通安全指導者研修会	1	42	1	45	1	50	1	51	※	
交通安全移動教室	91	5,428	90	5,168	90	5,001	82	5,114	53	1,483
高齢者との交通安全集会	30	1,066	30	1,236	30	1,152	19	653	14	172
区民交通安全教室	595	72,270	586	68,545	505	50,393	642	100,891	531	128,968
自転車安全教育 (スクエアード・ストレイト方式)	12	5,380	12	5,188	10	3,521	8	2,798	3	1,395
高齢者交通安全 大田区民のつどい	1	1,325	1	1,350	1	1,300	1	1,300	※	
高齢者交通安全体験教室	1	168	1	185	1	124	1	200	1	88
自転車安全利用実技教室	3	475	3	210	3	150	3	220	※	

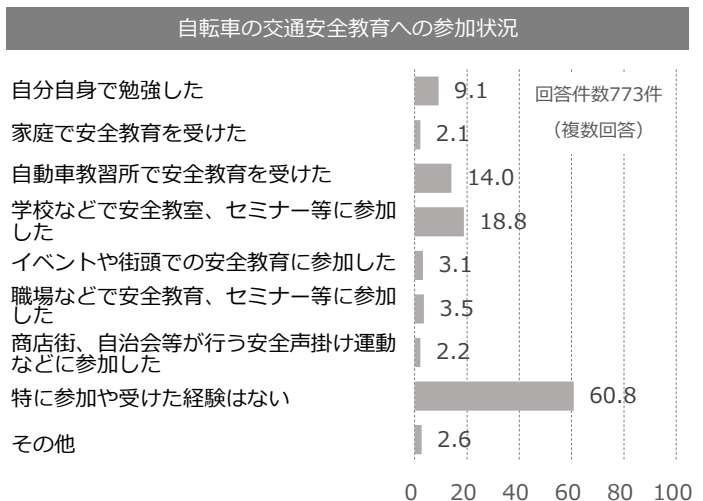
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

出典：大田区交通安全のあらし



⑬自転車の交通安全教育への参加状況

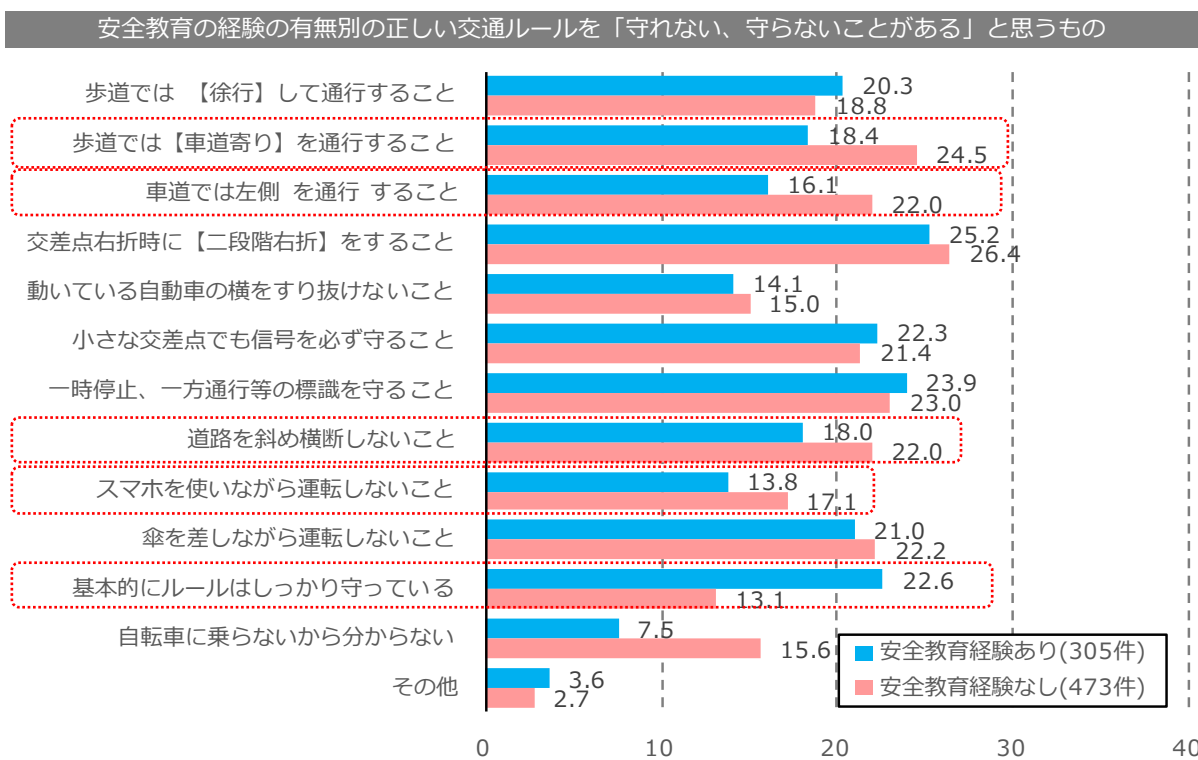
- 自転車の交通安全教育への参加状況については、60.8%が「特に参加や受けた経験はない」となっており、参加経験がある場合でも、学校と自動車教習所以外の機会はほとんどない状況です。
- 今後は、多くの方がより参加しやすくなるよう、交通安全教育機会の拡充等を検討していく必要があります。



出典：大田区自転車に関するアンケート調査（令和元年）

⑭自転車の交通安全教育による効果

- 自転車の交通安全教育に参加した経験のある人は、経験のない人と比べ、「歩道では【車道寄り】を通行すること」、「車道では左側を通行すること」、「道路を斜め横断しないこと」、「スマホを使いながら運転しないこと」について、守れない・守らない人の割合が少なくなっています。
- 「基本的にルールはしっかり守っている」人は、交通安全教育に参加した経験のある人の割合が高くなっており、自転車の交通ルール・マナーの遵守意識を向上させるためには、交通安全教育に参加する人を増やしていく必要があります。



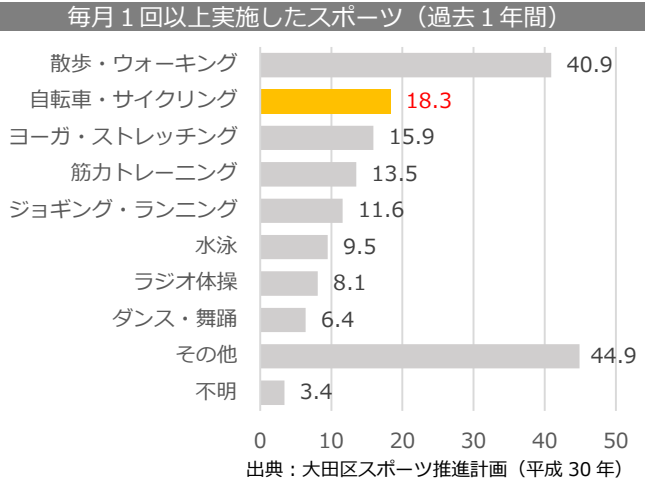
出典：大田区自転車に関するアンケート調査（令和元年）

4. 自転車活用に関する現状と課題

(1) 区民の自転車活用状況

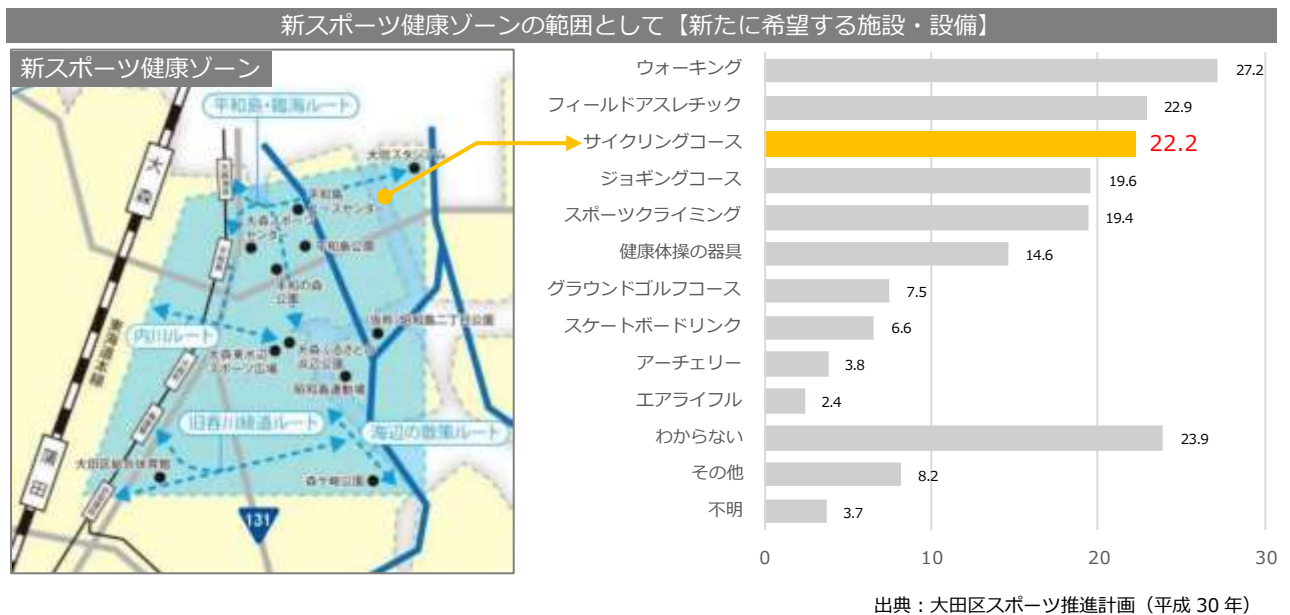
①自転車・サイクリングの実施状況

- 過去1年間に、毎月1回以上実施したスポーツでは、「自転車・サイクリング」が18.3%となっており、「散歩・ウォーキング」に次いで2番目に高くなっています。



②サイクリングコースのニーズ

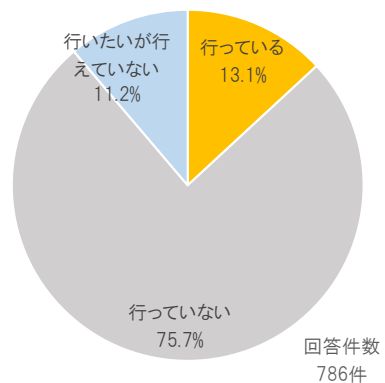
- 区では大森ふるさとの浜辺公園を中心に、大森スポーツセンター、大田スタジアム、森ヶ崎公園、大田区総合体育館に囲まれたエリアを「新スポーツ健康ゾーン」として整備しています。
- 新スポーツ健康ゾーンへ新たに希望する施設・設備としては、「サイクリングコース」が3番目に高くなっています。



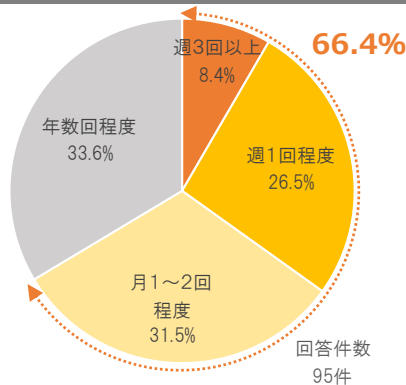
③余暇活動でのサイクリング等の実施状況

- 余暇活動としてサイクリング等を「行っている」人は全体の13.1%であり、サイクリング等を行っている人の66.4%は、月1回以上はサイクリング等を行っている状況です。
- サイクリング等を「行っていない」人は75.7%になっており、「自転車を買わないといけないため」、「時間が無いため」という理由が多くなっています。

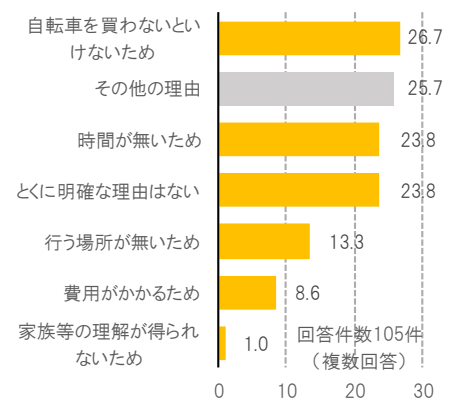
余暇活動でのサイクリング等の実施状況



サイクリング等を行う頻度



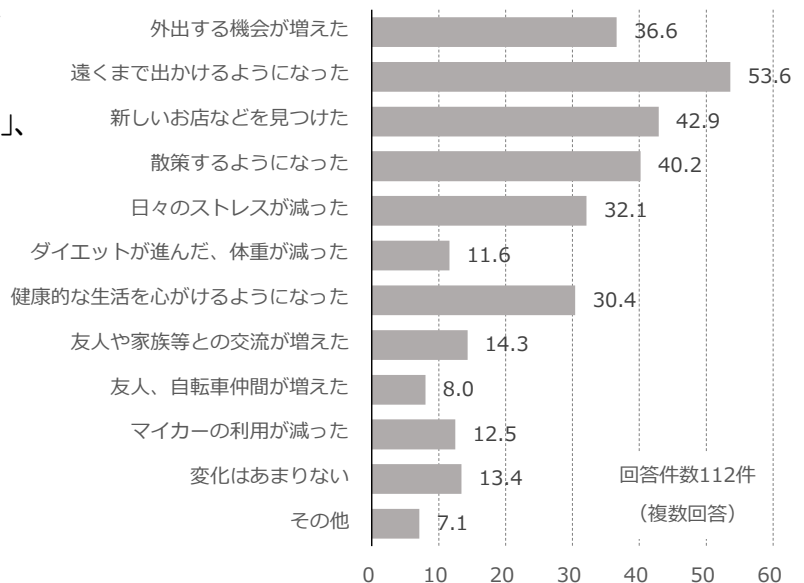
サイクリング等を行っていない理由



出典：大田区自転車に関するアンケート調査（令和元年）

【参考】サイクリングによる暮らし・心身への影響

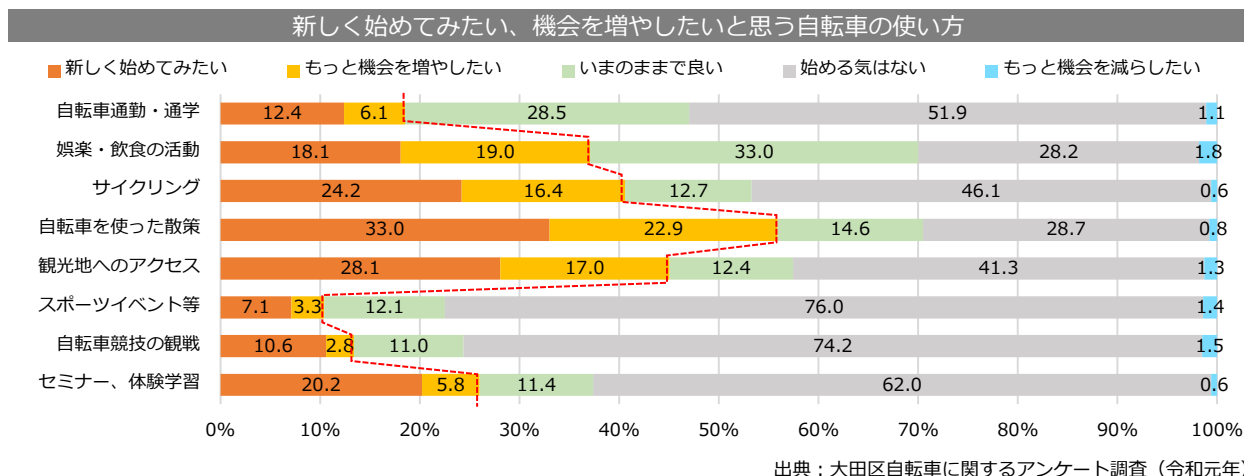
- サイクリングを行うことで暮らしに変化のあったこととしては、「遠くまで出かけるようになった」、「新しいお店などを見つけた」、「散策するようになった」、「外出する機会が増えた」といった、活動機会増加と活動範囲拡大の効果が高くなっています。
- 「日々のストレスが減った」、「健康的な生活を心がけるようになった」といった、心身への良い影響もあります。



出典：大田区自転車に関するアンケート調査（令和元年）

④自転車の使い方

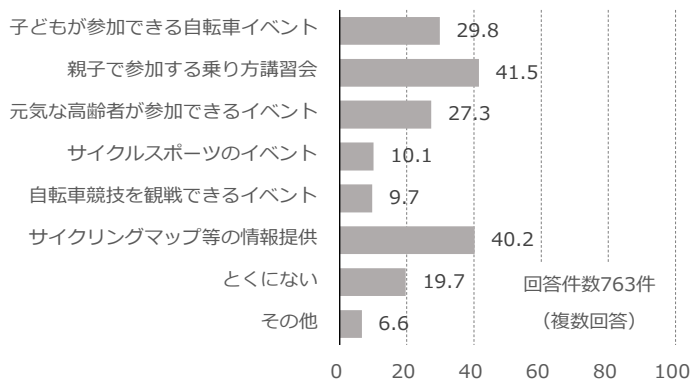
- 新しく始めてみたい、機会を増やしたいと思う自転車の使い方としては、「自転車を使った散策」、「観光地へのアクセス」、「サイクリング」、「娯楽・飲食の活動」が高くなっています。
- 特に「自転車を使った散策」については、全体の半数以上が今後機会を増やしたり、新しく始めたりしたいと思っている状況です。



⑤自転車活用の取組みの方向性

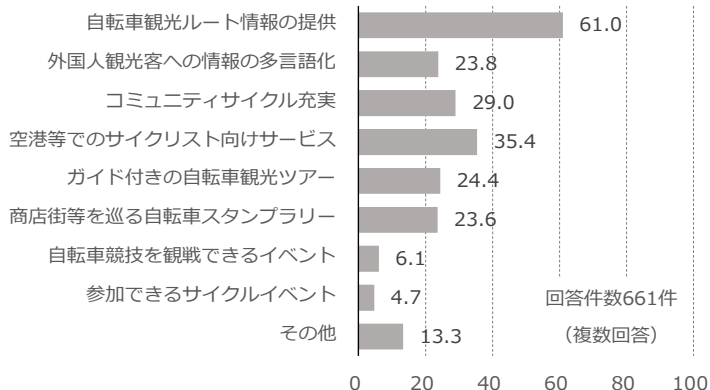
- 【健康づくり】や【スポーツ】の視点から大切だと思う自転車活用の取組みについては、「親子で参加する乗り方講習会」と「サイクリングマップ等の情報提供」が多くなっています。

【健康づくり】や【スポーツ】の視点から大切だと思う取組み



- 【観光】や【にぎわい】の視点から大切だと思う自転車活用の取組みについては、「自転車観光ルート情報の提供」が最も多く、次いで「空港等でのサイクリスト向けサービス」が多くなっています。

【観光】や【にぎわい】の視点から大切だと思う取組み

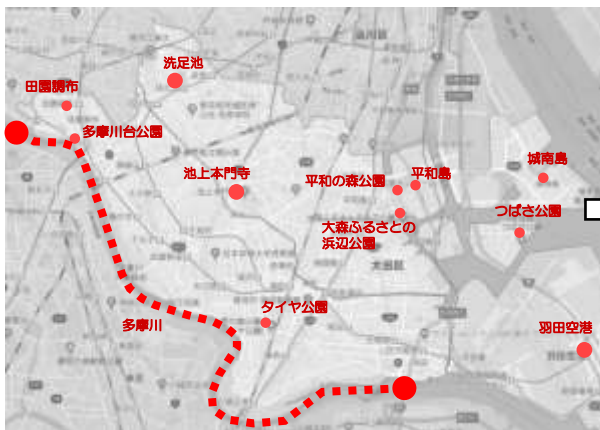


出典：大田区自転車に関するアンケート調査（令和元年）

⑥おすすめの観光スポット

- 大田区のおすすめスポットとしては、羽田空港、池上本門寺などが挙げられています。
- 国際都市おおたフェスティバル in「空の日」羽田の来場者ヒアリングでは、有名な観光スポットだけでなく、地元のおすすめの飲食店やサイクリングにおすすめの場所など、地域に根差し、魅力ある多様な観光資源の情報を得ることができました。

大田区の「おすすめスポット」(10件以上の回答)



出典：大田区自転車に関するアンケート調査（令和元年）

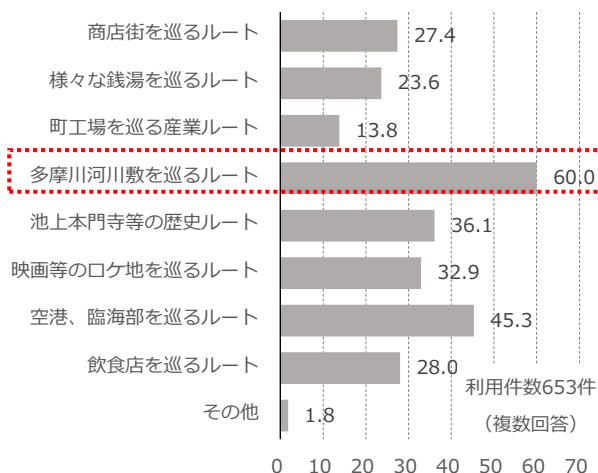
「空の日」の来場者ヒアリングの「おすすめスポット」



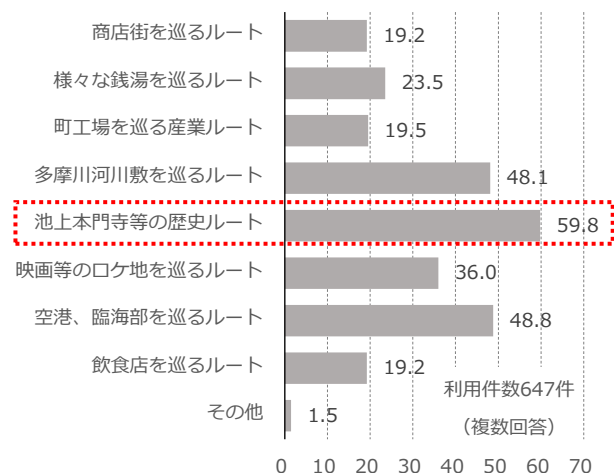
⑦おすすめのサイクリングルート

- 自分が実際に回ってみたいサイクリングルートとしては、「多摩川河川敷を巡るルート」が60%で最も多く、次いで「空港、臨海部を巡るルート」となっています。
- 来訪者におすすめしたいサイクリングルートとしては、「池上本門寺等の歴史ルート」が59.8%で最も多くなっています。

自分が実際に回ってみたいサイクリングルート



来訪者におすすめしたいサイクリングルート



出典：大田区自転車に関するアンケート調査（令和元年）

(2) 先行施策の展開

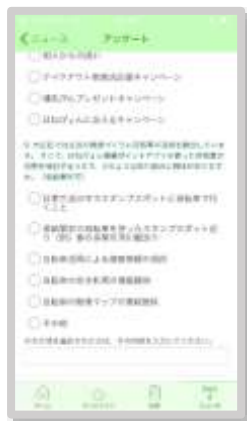
- 自転車活用推進の主体は区民であることから、計画策定段階から多くの人を巻き込んでいく仕掛けが重要となります。そのため、区では、本計画の策定に先行して、取組みを実施してきました。
- 本計画では、先行施策で得られた成果や課題を踏まえて、自転車活用施策をさらに発展させていきます。

① 「はねびん健康ポイントアプリ」との連携

取組み① 自転車活用メリット等の情報提供・アンケートの実施（令和2年度）

- 自転車活用メリットと安全利用に関する情報を作成し、ホームページで公開
- アプリ登録者へ情報提供、アンケート調査を実施
 - 「自転車を使ったスタンプスポットへの移動」に**全体の48.3%が「興味がある」と回答**

■ アプリ登録者に対するアンケート調査の実施



興味のある
自転車活用の取組み

自転車散策
マップの提供
26.1%

安全利用の
情報提供
11.9%

健康情報の提供
9.9%

その他
3.7%

日常のスタンプ
スポットへの移動
27.0%

スタンプスポット
巡り(季節限定※)
21.3%

有効回答数：2,199件

※春の多摩川河川敷巡り等

取組み② 自転車を使ったスタンプスポット巡り（令和2年度）

- 自転車でも巡りやすいスタンプスポットを多摩川河川敷に6か所新設
 - スタンプを集めた人に「自転車盗難防止啓発用品」をプレゼント（期間限定）
- スポーツ自転車を抽選応募の景品として新たに設定

■ 新たなスタンプスポットの設置



■ 新たに自転車を景品に設定



景品に「自転車」を
選んだ人

★一番人気★

580人

応募総数2,909人中
(令和3年3月)

取組み⑥ 自転車活用に関するニュース配信（令和3年度）

●自転車による健康づくりへの興味を高めるため、アプリのニュース機能を活用して、自転車に関する情報を配信

	第1回 (R3.7.21 配信)	第2回 (R3.9.27 配信)	第3回 (R3.12.10 配信)	第4回 (R4.2.4 配信)
タイトル	カラダとココロもリフレッシュ！ 楽しい自転車ライフ始めてみませんか？	あなたの自転車は安全？ お出かけ前にセルフチェック！	散歩のようにゆったりと！ 自転車で「散走」を楽しんでみませんか？	いつもの暮らしの中で、 ちょっとだけ自転車を 楽しもう！
内容	 <p>「はねびよんからのお知らせ」 「(1) 暑熱対策「ひまわり」が健康にいい理由」 「(2) 自転車は健康にいい理由」 「(3) 自転車は健康にいい理由」</p>	 <p>「はねびよんからのお知らせ」 「(1) あなたの自転車は安全ですか？」 「(2) あなたの自転車は安全ですか？」 「(3) あなたの自転車は安全ですか？」</p>	 <p>「はねびよんからのお知らせ」 「(1) 散歩のようにゆったりと！」 「(2) 散歩のようにゆったりと！」 「(3) 散歩のようにゆったりと！」</p>	 <p>「はねびよんからのお知らせ」 「(1) いつもの暮らしの中で、」 「(2) いつもの暮らしの中で、」 「(3) いつもの暮らしの中で、」</p>

②「散走」の試行実施

取組み① 「池上本門寺エリア」散走（令和2年度）

ワーク（令和2年10月30日）

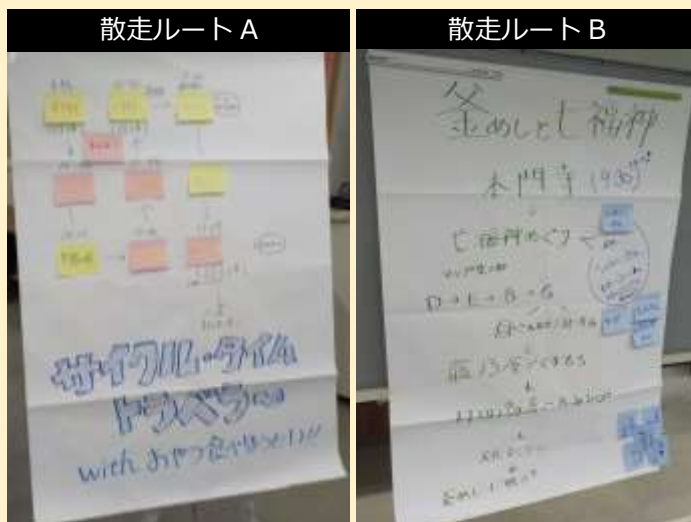
- 令和2年度は、「池上本門寺エリア」をモデル地区として散走を試行的に実施
- 実際に散走を行うにあたり、ワークショップ形式の勉強会を行い、ルートを検討
- （一社）大田観光協会、池上まちづくり協議会、地元の企業などの協力を得て実施



実走（令和2年11月12日）

- ワークで作成した2つのルートを実走
- 最後に「散走による気づきの報告会」を行い、参加者間で良かった点や問題点を共有
- 散走マップ（走行軌跡）を作成

■ 池上本門寺エリアの散走マップ



取組み② 「蒲田・糀谷・羽田エリア」散走（令和3年度）

ワーク（令和3年11月4日）

- 「蒲田・糀谷・羽田エリア」において、商店街等を巡りながら、羽田イノベーションシティまでの散走を実施
- 実際に散走を行うにあたり、ワークショップ形式の勉強会を行い、ルートを検討
- （一社）大田観光協会、大田区商店街連合会などの協力を得て実施



実走（令和3年11月18日）

- ワークで作成した2つのルートを実走
- 最後に、感想や意見を話し合いながら、振り返りを行い、区民に伝えるべき散走の魅力、散走の普及に必要なことや課題を整理
- 散走マップ（走行軌跡）を作成



③スポーツ・健康イベントとの連携

取組み① 会場間の自転車利用の推進（令和2年度）

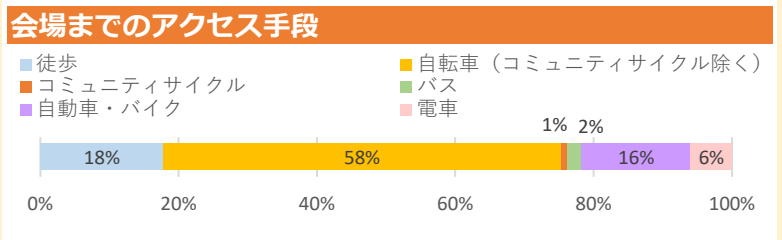
- 令和2年10月11日に開催した「第37回大田区区民スポーツまつり」で、会場間の自転車消費カロリーを示したパネルを展示し、来場者にヒアリングを実施
- 会場間移動でのシェアサイクル利用を促進（会場案内図にサイクルポートの位置等を掲載）

区民スポーツまつり 主要会場間の自転車消費カロリー ～移動も「スポーツ」として楽しんでみよう～

移動手段	距離	消費カロリー
ママチャリ	15km	24kcal/1人
電動アシスト	15km	13kcal/1人
クロスバイク	20km	21kcal/1人
ロードバイク	30km	30kcal/1人

取組み② 来場者アンケートの実施（令和2年度）

- 来場者アンケートを実施し、来場手段、日常や余暇での自転車の使い方等を調査
- ➔ 会場までのアクセス手段として、半数以上の人々が自転車を使用していることなどを把握



④区民・企業への自転車活用PR

取組み① 自転車のメリットに関する周知チラシの作成（令和2年度）

- チラシ「楽しい自転車暮らし、はじめてみませんか？」を作成
- 令和2年12月に「おおた健康経営事業所」19社に配布

取組み② 自転車活用に関するアンケート調査の実施（令和3年度）

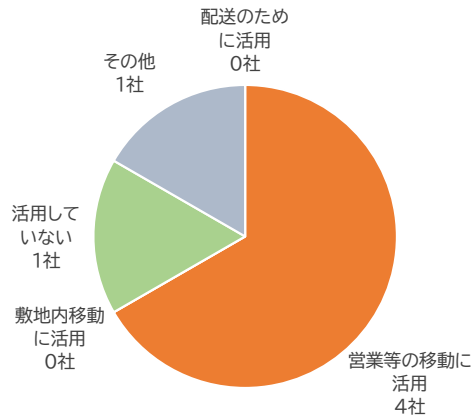
- 企業における自転車活用の状況や今後の意向、要望等を把握するため、アンケート調査を実施

→ 業務活動の中では、営業等の移動に自転車を活用している企業が多いことなどを把握

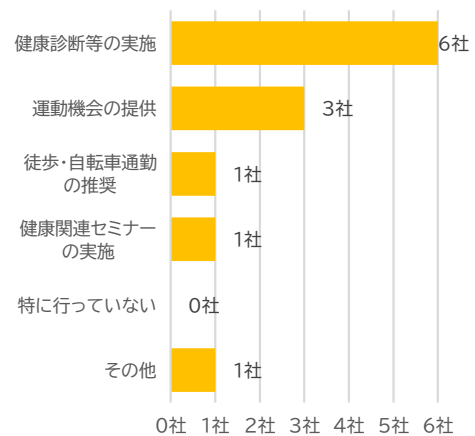
■ アンケート調査について

【調査時期】	令和3年12月2日～12月23日
【対象】	おおた健康経営事業所17社
【回収状況】	6社

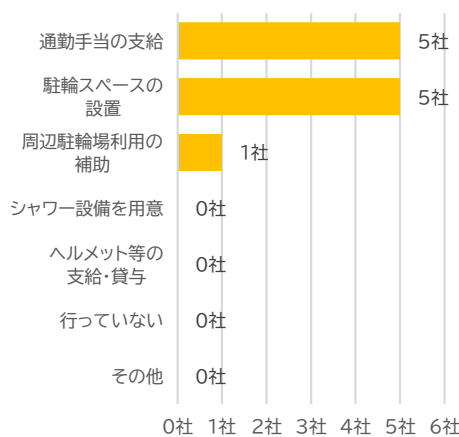
・ 業務活動での自転車活用



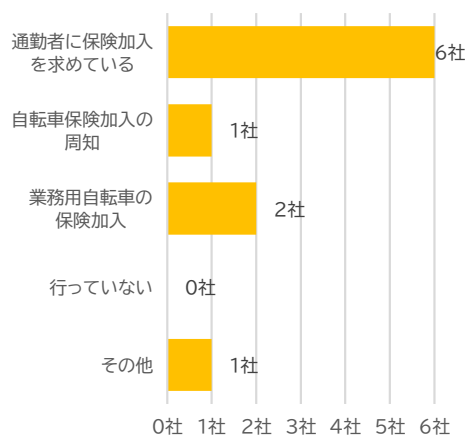
・ 従業員の健康のため取組み



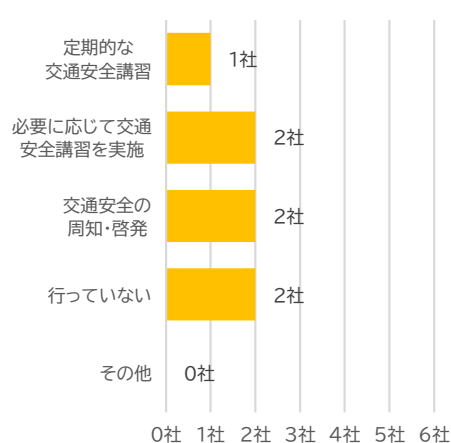
・ 自転車通勤に対する取組み



・ 自転車保険の加入に関する取組み



・ 交通安全に関する取組み



・ 今後の自転車活用推進のために必要な施策

